

科目名	服飾Ⅰ			
単位数	27単位（660時間）		科目コード	2026FD101
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式
学科（コース）・学年	ファッションデザイン科1年・ファッションテクニカル科1年			
担当教員名	FD：高橋明美、FT：品田真理子			
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である品田真理子はオフィスしみずにてスタイリストとして、TV、雑誌、CM、イベントの出演者の衣装制作、サイズ直し、スタイリング等の業務に携わった実績を踏まえ、衣装制作、サイズ直し、スタイリング等の実務者の観点から授業を行う。			
授業の目標および概要	人間力…自分で考える力 伸び代のある人間 技術力…服がわかり、服として表現する力 上記を兼ね備えた上で、クリエイティブで、個性的な表現を知る 時代の感覚を知る 服作りの楽しさを知る			
使用教材・教科書等	文化服装教本 服飾造形の基礎・スカート/パンツ・ジャケット/ベストシャツ/ブラウス PM検定3級問題集			
成績評価方法	試験100%			

授 業 計 画

1. 服飾造形の基礎…概説・用具・手縫い・ミシン縫い・ロックミシン縫い
2. 体型研究…体型研究
3. パンツ…実物製作
4. スカート…実物製作・着装発表会
5. ブラウス・シャツ…実物製作・着装発表会
6. ワンピース…実物製作・着装発表会
7. ジャケット…実物製作・着装発表会
8. 修了ショー…実物製作・ファッションショー
9. PM…PM3級検定用ブラウス
10. ドレーピング基礎…身頃、袖、タイトスカート
11. ドレーピング…PM3級検定用ブラウス
12. 基礎縫い・部分縫い…手縫い・ミシン縫い・ロックミシン縫い
13. グレーディング…タイトスカート・フレアスカート
14. 手芸…欧風刺繍

科目名	CG I			
単位数	2単位（46時間）		科目コード	2026FD102
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式
学科（コース）・学年	ファッションデザイン科1年			
担当教員名	今井利匡			
教員の実務経験の有無と該当教員のプロフィール	講師である今井利匡は、企業のインハウスデザイナー及びフリーランスとしてグラフィックデザイン業務に15年以上携わった実績を踏まえ、グラフィックデザイナーの実務者の観点から授業を行う。			
授業の目標および概要	PC及びグラフィックソフトの基本操作を習得する。 基本的なグラフィックデザインにおける知識を学び、課題を行うことでCGソフトの設定や操作に慣れることを目的とする。			
使用教材・教科書等	Adobe ILLUSTRATOR・PHOTOSHOP USBメモリ			
成績評価方法	課題 100% (平均点)			
授 業 計 画				
<ol style="list-style-type: none"> 1. PC基本操作、グラフィックデータの基礎知識（1コマ） PC基本操作の確認、配色、レイアウト、データの種類等のグラフィックデータの基礎知識を学ぶ 2. Illustrator基礎（7コマ） Illustratorの基本操作を学ぶ 3. Thankyouカード作成（2コマ） 画像の配置、レイアウトの基本を学ぶ 4. シルクスクリーン演習 5. Photoshop基礎（6コマ） Photoshopの基本操作を学ぶ 6. ハンガーイラスト演習（4コマ） ハンガーイラストの書き方、データの応用方法を学ぶ 				

科目名	基礎デザイン			
単位数	1単位（16時間）		科目コード	2026FD103
必・選の別	必修	開講時期	前期	授業の形式
学科（コース）・学年	ファッションデザイン科1年・ファッションテクニカル科1年			
担当教員名	品田真理子			
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である品田真理子はオフィスしみずにてスタイリストとして、TV、雑誌、CM、イベントの出演者の衣装制作、サイズ直し、スタイリング等の業務に携わった実績を踏まえ、衣装制作、サイズ直し、スタイリング等の実務者の観点から授業を行う。			
授業の目標および概要	ファッションデザインに限らず、身の回りのモノも含め『デザイン』を理解する。 実習を通し、デザイン技法の理解・習得する。			
使用教材・教科書等	教科書「デザイン」、ベーシックカラー140			
成績評価方法	課題100%			
授 業 計 画				
1. 「ユニティ」 セントラリティ・ドミナント 説明・実習、合評・提出 2. 「リズム」 レピテーション・グラデーション 説明・実習、合評・提出 3. 「バランス」 シンメトリー・アシンメトリー 説明・実習、合評・提出				

科目名	クリエイション I			
単位数	1単位 (16時間)		科目コード	2026FD104
必・選の別	必修	開講時期	後期	授業の形式
				講義
学科 (コース) ・ 学年	ファッションデザイン科1年・ファッションテクニカル科1年			
担当教員名	市川マーカス知利			
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	株式会社VanCia、アパレル部にてJUSMA、MARCUS COVINGTONのデザイン及び縫製を担当。より実践的なデザイン、縫製業務の実績を踏まえて務者の観点から授業を行う。			
授業の目標および概要	<p>①自分らしさ、オリジナリティを見つけ出す</p> <p>②コンテストデザイン画 (2年生に向けて) : 入選できるように強化する</p> <p>③修了ショーに落とし込めるクリエイションの訓練</p>			
使用教材・教科書等	スマートフォン、iPad、アップルペンシル 雑誌、印刷物も使用→コラージュのため			
成績評価方法	課題100%			
授 業 計 画				
<p>①自分らしさ、オリジナリティを見つけ出す 自分がやりたいこと、作りたい物の発見と同時に、自分が知らなかったやるべきことと、作るべきものを見つけ出す。</p> <p>②コンテストデザイン画 (2年生に向けて) デザイン画を描く楽しさよりも、デザインすることの楽しさ、デザインだけでなくテクニックやディテールの表現を楽しみという感情に変えたい。 デザインだけでは意味がないので、「うまくデザイン画を描かないといけない」「課題として提出しなければならない」ではなく自分にしか表現できないクリエイションを形に残したいと思えるような授業を行う。 コンテストデザインに必ず入選できるよう強化。</p> <p>今の時代、誰から教わるのがとても重要な時代であると考えます。 個人的なインフルエンサーや、憧れを持ってもらえるような講師として、生徒とは壁を作らずシンプルにマーカスのような服飾関係者になりたいと思えるような授業を行いたい。</p> <p>③修了ショーに落とし込めるクリエイションの訓練 ①、②を生かしつつ修了ショー作品に落とし込めるデザインを作成する</p>				

科目名	スタイル画Ⅰ			
単位数	2単位（46時間）		科目コード	2026FD105
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式
学科（コース）・学年	ファッションデザイン科1年・ファッションテクニカル科1年			
担当教員名	渡辺直樹			
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である渡辺直樹は、フリーランスとしてのファッションイラスト制作に30年以上携わった実績を踏まえ、ファッションイラストレーションの実務者の観点から授業を行う			
授業の目標および概要	<p>【目標】線画での身体、服の描き方、iPad (Adobe Fresco)での着色方法を覚える。</p> <p>【概要】スタイル画の基礎、プロポーション、顔、身体などの描き方、平絵、Adobe Frescoの使い方を学ぶ。</p>			
使用教材・教科書等	スマートフォン、iPad、アップルペンシル、シャーペン、スケッチブック			
成績評価方法	課題100%			

授 業 計 画

- 1.スタイル画のバランスとプロポーション
- 2.マップからのデザイン画
- 3.ワンピース（布帛）
- 4.クロッキー
- 5.夏季課題
- 6.ハンガーイラスト
- 7.衿について
- 8.シルエットからのデザイン
- 9.ショーピースのデザイン画

科目名	マテリアルⅠ			
単位数	2単位（30時間）		科目コード	2026FD106
必・選の別	必修	開講時期	前期	授業の形式
学科（コース）・学年	ファッションデザイン科1年・ファッションテクニカル科1年			
担当教員名	池邊初恵			
教員の実務経験の有無と該当教員のプロフィール	講師である池邊初恵は、(株)グラン山貴、(株)キング、(株)レナウン、ホロン(株)にて企画・デザイン業務ののち、フリーランスとしてオーダーメイドに35年以上携わった実績を踏まえ、ファッション商品企画・デザイナーの実務者の観点から授業を行う。			
授業の目標および概要	<p>【目標】・被服素材の基礎知識の習得。</p> <p>・素材の成り立ちと特徴を理解し、服との関係性の習得。</p> <p>【概要】・被服素材の基礎と服のデザインやパターンとの関連性を解説する。</p> <p>・画像や実物の説明から視覚からの認知を高める。</p>			
使用教材・教科書等	アパレル素材論(文化服装学院)・生地事典(みずしま)			
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・前期末テスト…筆記 ・授業内作品 			
授 業 計 画				
<ol style="list-style-type: none"> 1. マテリアルとは？ マテリアルの知識とアパレルとの関係 2. 繊維の分類 <ul style="list-style-type: none"> 繊維の特徴1・・・天然繊維（植物） 3. 繊維の特徴2・・・天然繊維（動物） 4. 繊維の特徴3・・・化学繊維 5. 繊維の特徴4・・・化学繊維 6. 繊維の性質 ※燃焼実験 7. 糸の分類・・・紡績糸 フィラメント糸 8. 糸の構造・・・撚り 単位 意匠糸の知識 9. 織物の歴史と織り工程 10. 織物の規格と構造 11. 織物の組織・・・三原組織 12. 織物の組織・・・変化組織 期末テストの予習 13. ※織実習 14. 織物の特殊組織 期末テストの復習 15. 織機の種類 品質表示 				

科目名	カラー I			
単位数	2単位 (46時間)		科目コード	2026FD107
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式
学科(コース)・学年	ファッションデザイン科1年・ファッションテクニカル科1年			
担当教員名	原田弘美			
教員の実務経験の有無と該当教員のプロフィール	-			
授業の目標および概要	カラーシステムをもとに、色彩の基礎である色の三属性、光と色、色彩の感情効果などを学びます。また、色彩の特性を理解したうえで、バランスのとれた基本配色や、イメージ豊かな色彩表現が行なえることを目標とします。			
使用教材・教科書等	文化ファッション大系「服飾デザイン」、ペーシックカラー-140、199b配色カード、カッター、カッター定規、のり、ノト、筆記具			
成績評価方法	試験50% 課題50%			
授 業 計 画				
1. カラーシステム・・・色の三属性 pccs24色相、明度、彩度 4コマ 2. 作品制作①・・・「色相環・ニュートラルカラーズ」 2コマ 3. 色のイメージ・・・色の暖寒感、トーンのしくみ、トーンのイメージ 3コマ 4. 色の見え・・・色の対比、同化、進出性後退性、膨張収縮など 2コマ 5. 色彩の科学・・・光と色彩、目のしくみ、三原色、混色など 2コマ 6. 色名・・・色名の種類 日本の色、ヨーロッパの色 1コマ 7. 作品制作②・・・色彩の共感覚「味覚と色彩」 2コマ 8. 配色の基礎・・・マンセルカラーシステム、色相基準配色、トーン基準配色 4コマ 9. 作品制作③・・・「カラーコーディネーション」 3コマ				

科目名	ファッションビジネス概論				
単位数	2単位 (36時間)		科目コード	2026FD108	
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式	講義
学科 (コース) ・学年	ファッションデザイン科1年				
担当教員名	宮崎 弘亘				
教員の実務経験の有無と該当教員のプロフィール	学卒後、服飾系専門学校で服作りを学ぶ。以降、20数年に亘ってアパレル・繊維関連の複数企業で営業、企画、生産管理等を経験。繊維系第三者検査機関での渉外職と並行して、2020年に中小企業診断士（経営コンサルの唯一の国家資格）の資格を取得。その後、個人事務所を開業して現在は専門家として主に公的機関等での中小企業支援（特にアパレル関連事業者への支援を得意とする）に従事する。これらの経験を踏まえて、これからの業界に求められる人材像をイメージしながら授業を行う。				
授業の目標および概要	<ul style="list-style-type: none"> * アパレル業界の仕組み、流れの理解 * 商品企画に対する理解を深める * 就職を意識した業界分類と職種の把握 * 一部ファッションビジネス能力検定3級含む 				
使用教材・教科書等	タブレット端末 (iPad) 、等				
成績評価方法	課題・試験				
授 業 計 画					
<p>ファッションビジネス概論</p> <p>1)ファッションビジネスの概要 イントロダクション（講師のこと、働くということ等）／ファッションビジネスとは？／ファッションビジネスの対象、等</p> <p>2)繊維・ファッション産業の概要①（産業の全体を知る） 繊維産業、ファッション産業の概要についての理解／国内のアパレル市場の状況を知る／国内ファッション産業の80年を概観、等</p> <p>3)繊維・ファッション産業の概要②（業種・業態） 素材関連産業の理解／アパレル産業における様々な業種・業態／世界のコレクション、等</p> <p>4)繊維・ファッション産業の概要③（消費者と消費行動） 消費および消費者の概念を理解／消費行動について／消費者をめぐる問題と法律について、等</p> <p>5)アパレル企業における仕事の流れ アパレル企業における仕事の流れ／職種と役割／企業の事例を学ぶ、等</p> <p>6)ファッションビジネスにおけるマーケティングの基本① マーケティングの基本を理解する</p> <p>7)ファッションビジネスにおけるマーケティングの基本② マーケティングの基本をより深く理解する／ワーク</p> <p>8)最近の業界・市場から今後の流れを読む カーボンニュートラルへの要求など近年業界をとりまく環境や最新のトピックについて／開発時に織り込む品質について</p> <p>9)ファッションマーチャンダイジングの基本① マーチャンダイジングの基礎知識／商品企画、生産管理、販売の流れ／関連用語</p> <p>10)ファッションマーチャンダイジングの基本② マーチャンダイジングにおける計数管理（売上、原価、利益など）の基本を学ぶ／ワーク</p> <p>11)ファッションビジネスにおける商品企画① 商品企画（開発）のプロセスを学ぶ／ワークの説明</p> <p>12)ファッションビジネスにおける商品企画② 個人ワーク（Tシャツの商品企画）</p> <p>13)ファッションビジネスにおける商品企画③ グループワーク（個人ワークでの成果を小グループ単位でプレゼン）</p> <p>14)ファッションビジネスの現場を知る ゲストスピーカーを招きインタビュー形式でお話を伺う</p> <p>15)授業の振り返り これまでに学んだ内容の復習／最新の業界動向にもとづいた知識の補完</p>					

科目名	西洋服装史			
単位数	2単位（30時間）		科目コード	2026FD109
必・選の別	必修	開講時期	後期	授業の形式
学科（コース）・学年	ファッションデザイン科1年・ファッションテクニカル科1年			
担当教員名	原田弘美			
教員の実務経験の有無と該当教員のプロフィール	-			
授業の目標および概要	衣服の起源と古代から現代までの西洋服飾の変遷を、映像を使用しながら解説します。文化、芸術、宗教など様々な歴史との関連を持つ装いを理解し、過去の装いが現代のファッションやデザイナーに影響を与えていることを踏まえつつ、興味と知識を深め、新たなデザイン発想に活かせることを目標とします。			
使用教材・教科書等	文化ファッション大系「西洋服装史」、タブレットノート、ペン			
成績評価方法	試験100%			
授 業 計 画				
1. 衣服の起源・・・・・・・・衣服の起源と役割 1コマ 2. 古代の服飾・・・・・・・・古代エジプト、古代ギリシャ、古代ローマの服飾 1コマ 3. 中世の服飾・・・・・・・・ビザンチン、ロマネスク、ゴシックの服飾 1コマ 4. 近世の服飾・・・・・・・・ルネサンス、バロック、ロココの服飾 3コマ 5. 近代の服飾・・・・・・・・第一帝政時代、第二帝政時代、第三共和制時代の服飾 1コマ 19世紀末期の服飾、スポーツウエア、19世紀男性スタイル 1コマ 6. 現代の服飾・・・・・・・・ファッション産業の基盤 20世紀初頭の服飾 1コマ 1920年代～1950年代のファッション 3コマ 1960年代～2000年代のファッション 3コマ				

科目名	就職講座Ⅰ			
単位数	1単位（16時間）		科目コード	2026FD110
必・選の別	必修	開講時期	後期	授業の形式 講義
学科（コース）・学年	ファッションデザイン科1年			
担当教員名	小暮哲也			
教員の実務経験の有無と該当教員のプロフィール	フリーランスのコンサルタント リクルートや楽天の採用面接官を経験し、今までの実績は1000人以上 他校で就職講座を複数実施、他科目ではマーケティングやベンチャービジネスを担当			
授業の目標および概要	就職活動を視野に ①キャリアプランの基本的な考え方 ②プランの実現のために必要な事を把握し、プラン立案可能な状態となる、そのために ①基本的な社会構造 ②企業の人材に対する考え方 ③企業分析の基礎を理解しマインドセットの基礎とする			
使用教材・教科書等	教科書は不使用 独自のワークシートを使用予定			
成績評価方法	提出物100%(出席率も加味する)			
授 業 計 画				
1. 就職活動に向けたマインドセット 2. 就職活動の本質的な概要とプロトコル 3. 求人票と企業の分析についての基礎 4. 必要なナレッジ・スキル ①論理性 ②スピード感 ③地頭 ④相場感				

科目名	特別講義Ⅰ			
単位数	3単位（52時間）		科目コード	2026FD111
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式 講義
学科（コース）・学年	ファッションデザイン科1年・ファッションテクニカル科1年			
担当教員名	各回ゲスト講師			
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	-			
授業の目標および概要	現場で活躍する講師を迎え、ファッション業界の最新の動向を知るとともに、普段の授業だけでは学ぶことのできない幅広い知識を身につける。			
使用教材・教科書等	特になし			
成績評価方法	授業への出席（100%）			

授 業 計 画

《座学》

1. 什器工学
2. コレクション情報
3. ファスナー 他の基本
4. 資材について
5. 選挙・校長講話
6. フォトテクニック
7. コレクション解説
8. YKK
9. SNS
10. 就職（森田先生）
11. 卒業生講話
12. 在校生講話・他学年先生のお話

《校外授業》

1. フレッシュマン研修
2. 親睦会
3. 運動会
4. 美術展見学
5. 展示会见学
6. ファッションショー見学

科目名	服飾Ⅱ			
単位数	26単位（630時間）		科目コード	2026FD201
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式
学科（コース）・学年	ファッションデザイン科2年			
担当教員名	平川将太郎			
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である平川将太郎は、(株)ベビーフェイスに3年以上携わった実績を踏まえ、デザイン・企画・提案の実務者の観点から授業を行う。			
授業の目標および概要	<p>人間力・・・自分で考え行動し発信する事が出来る人。コミュニケーション能力の高い人 技術力・・・服の構造と仕組みがわかる。デジタルを活用する力</p> <p>上記を兼ね備えた上で、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリエイティブで個性的な表現にチャレンジする ・時代の感覚をキャッチする ・自らデザインして、形に出来る 			
使用教材・教科書等	文化服装教本 コート/ケープ・ジャケット/ベスト			
成績評価方法	課題100%(課題に定期試験も含む)			
授 業 計 画				
1. カットソー(基本)…講義・パターンメイキング（ラブオフ）・実物製作 2. カジュアルジャケット…講義・デザイン相談・パターンメイキング・実物製作 3. コラボ企画…実物製作 4. ウィンターコート…講義・デザイン相談・パターンメイキング・実物製作 5. 修了作品…デザイン相談・パターンメイキング(トワル組み立て)・実物製作 6. 関連講義…被服と私たち・体型観察・既製服衣料サイズ・プリーツについて、グレーディング他 7. 部分縫い…講義・ステンカラー・本比翼、ふらし仕立て、箱ポケット 8. 手芸…テキスタイル創案、キルティング、プリーツ 9. パターンメイキング…ダーツの展開・スカートの展開・JK・袖の展開・PM検定・グレーディング・ルダンゴト 10. ドレーピング…原型・デザインスカート・ジャケット				

科目名	CG II			
単位数	2単位（46時間）		科目コード	2026FD202
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式
学科（コース）・学年	ファッションデザイン科2年			
担当教員名	平川将太郎/大原由梨佳			
教員の実務経験の有無と該当教員のプロフィール	<p>講師である平川将太郎は、㈱ベビーフェイスに3年以上携わった実績を踏まえ、デザイン・企画・提案の実務者の観点から授業を行う。</p> <p>講師である大原由梨佳は、ファッションブランド"IN-PROCESS Tokyo"を設立し、ファッションデザイン、テキスタイルデザイン、イラスト・CGデザイン業務に15年以上携わった実績を踏まえ、ファッションデザイン・CGデザインの実務者の観点から授業を行う。</p>			
授業の目標および概要	<p>①平川先生：12時間(6コマ)</p> <p>②講師大原先生：34時間(17コマ)</p> <p>PHOTOSHOP、ILLUSTRATOR、POWER POINTの操作およびCGによるアパレル企画分野でのプレゼンテーション力のスキルアップ。</p> <p>プリント柄のデザイン展開の理解。</p>			
使用教材・教科書等	<p>USB、各リサーチ</p> <p>adobe Photoshop・Illustrator、Microsoft powerpoint</p>			
成績評価方法	課題100%,試験0%			
0				
<p>*ブランディング</p> <p>ターゲット設定：イメージマップ・ターゲットポジション</p> <p>*シーズン・テーマ、ムードボード+カラーパレット、ブランドロゴ</p> <p>*プリント柄（コットン シャツ実物作製）</p> <p>+柄、色のバリエーション</p> <p>*デザイン展開（スタイリング提案3体）</p> <p>*最終デザイン画3体</p> <p>スタイリング画+平絵+スワッチ</p> <p>*パワーポイント企画書→プレゼン</p>				

科目名	3DCAD I			
単位数	2単位（46時間）		科目コード	2026FD203
必・選の別	必修	開講時期	前期	授業の形式
学科（コース）・学年	ファッションデザイン科2年・ファッションテクニカル科2年			
担当教員名	平川将太郎			
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である平川将太郎は、(株)ベビーフェイスに3年以上携わった実績を踏まえ、デザイン・企画・提案の実務者の観点から授業を行う。			
授業の目標および概要	CLOの基本操作を習得をはじめとして、レンダリング出力、モーション設定、生地物性測定など、幅広い技術を身に付ける。			
使用教材・教科書等	なし			
成績評価方法	課題80%，出席率20%			
授 業 計 画				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な操作演習 2. アイテムの作成とデザイン変更 3. 各種ディテール表現 4. 生地物性測定 5. レンダリングとモーション 				

科目名	企業コラボ I			
単位数	1単位 (16時間)		科目コード	2026FD204
必・選の別	必修	開講時期	通年	
学科 (コース) ・ 学年	ファッションデザイン科2年・ファッションテクニカル科2年			
担当教員名	千々和年功			
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である千々和年功は、企業にて商品企画・生産・販売・広報・店舗開発・人事教育・海外支社に携わり、会社設立後は店舗運営、マーケティングコンサル、ショップチャンネルにて企画生産販売業務に携わった実績を踏まえ、実務者の観点から授業を行う。			
授業の目標および概要	<p>学生達が企画から生産までの企業の仕事の流れを経験することを目的とし、オリジナルブランドを企画し、ターゲットに向けて商品を企画・製作しポップアップストアを運営する。商品企画をする為にリサーチを行い、ターゲットの志向やトレンドを分析する。</p> <p>SNSでの効果的なPR方法を模索する。商品の原価と上代の設定方法を学ぶ。</p> <p>ポップアップストア運営の結果の分析と改善策の検討をする。</p>			
使用教材・教科書等	特になし			
成績評価方法	出席100%			
授 業 計 画				
<ol style="list-style-type: none"> 1. コンセプトワーク 2. コンセプト、ブランド名、商品構成の選定 3. ターゲットの設定、出店エリアの検討・決定 4. 出店エリアリサーチ・分析 5. デザイン出し、DMデザイン、下げ札、織ネーム検討 6. デザイン検討会、素材の検討 8. PR方法の検討、実行(SNS用の動画撮影、ルック撮影) 9. 商品製作 10. 商品検品、販売ロールプレイング 11. 販売実習 12. 結果の分析、総括 				

科目名	クリエイションⅡ			
単位数	2単位（46時間）		科目コード	2026FD205
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式
学科（コース）・学年	ファッションデザイン科2年			
担当教員名	大原由梨佳			
教員の実務経験の有無と該当教員のプロフィール	講師である大原由梨佳は、自社ブランドを設立し、ファッションデザイン、テキスタイルデザイン、イラスト・CGデザイン業務従事。			
授業の目標および概要	デザインとは何か、個々のオリジナル性を追求し、それがどういう事かを理解し学ぶ。実習、プロジェクトを通し、リサーチの重要性、デザインやカラーの展開の仕方、コレクションのバランスの作り方、ポートフォリオのまとめ方、自分の作品の見せ方を理解し学ぶ。			
使用教材・教科書等	各自のリサーチ<イラストレーション（クロッキー）の授業にて必要なもの（1コマのみ）>（注：紙と鉛筆は、メーカー指定させて下さい。色画材は、100円SHOPのものでも何でも良いです）*鉛筆（STAEDTLER ルモグラフ鉛筆 2B～3B）*カッター（鉛筆は、鉛筆削りで削るのではなく、カッターで削るように）*色鉛筆（多色セット）*パステル（多色セット）*色マーカー（多色セット）*B3の紙：100枚綴じのもの（ニュースプリントパット B3 更紙（ワラバン紙自由帳））*クリップ（紙と台紙を挟むもの）*画板			
成績評価方法	課題、プレゼン			
授 業 計 画				
クロッキー／イラスト 1. NOW X DRAPING PROJECT 2. DETAILS & SILHOUETTE PROJECT				

科目名	スタイル画Ⅱ			
単位数	3単位（60時間）		科目コード	2026FD206
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式 実習
学科（コース）・学年	ファッションデザイン科2年			
担当教員名	渡辺直樹			
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である渡辺直樹は、フリーランスとしてのファッションイラスト制作に30年以上携わった実績を踏まえ、ファッションイラストレーションの実務者の観点から授業を行う。			
授業の目標および概要	スタイル画の表現力向上。 観察に基づいた考察と、それを反復して描く事がとても大切である。描画量を増やすことで画力は向上する。就職活動に対応できる画力を得ることを目指す。			
使用教材・教科書等	マーカー、PMPAD、ミリペン、iPadなど			
成績評価方法	課題100%			

授 業 計 画

1. 外部コンペ（ナゴヤ）
2. 外部コンペ（日暮里）
3. 衿、ハンガーイラスト
4. ジャケット
5. 夏季課題
6. 全国服飾学校協会ファッション画コンクール
7. 素材別表現：レース・シースルー
8. 素材別表現：布帛秋冬物素材

科目名	マテリアルⅡ			
単位数	2単位（30時間）		科目コード	2026FD207
必・選の別	必修	開講時期	前期	授業の形式
学科（コース）・学年	ファッションデザイン科2年・ファッションテクニカル科2年			
担当教員名	池邊初恵			
教員の実務経験の有無と該当教員のプロフィール	講師である池邊初恵は、(株)グラン山貴、(株)キング、(株)レナウン、ホロン(株)にて企画・デザイン業務ののち、フリーランスとしてオーダーメイドに35年以上携わった実績を踏まえ、ファッション商品企画・デザイナーの実務者の観点から授業を行う。			
授業の目標および概要	【目標】 ・繊維の加工の種類と特徴の知識の習得と理解 ・アパレルにおける染色についての理解と染色方法の理解 【概要】 ・1年次の繊維の知識をより深め、服との関係性のバリエーションを高める。			
使用教材・教科書等	アパレル素材論(文化服装学院)/生地事典(みずしま)			
成績評価方法	・前期末テスト…筆記 ・授業内作品			
授 業 計 画				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 1年次の復習とそれぞれの素材と商品の適合 2. 繊維別仕上げ加工…天然繊維 3. 繊維別仕上げ加工…化学繊維 ※熱可塑性実習 4. 目的別仕上げ加工…外観、風合いに変化を与える加工 5. 目的別仕上げ加工…特殊な性能を与える加工、新たな素材を得る加工 6. ※素材とデザインの適合ワークⅠ 編地…ニット・カットソーの製造プロセス 7. 編地…編地の組織と分類 8. 編地…自動機と手動横編み機 9. 染色 アパレル製品の染め 10. 染色 浸染ー染料(天然染料と合成染料) 11. ※染色実習 12. ※染色実習 期末テストの予習 13. 染色 実習の確認 捺染プリント 14. ※素材とデザインの適合ワークⅡ 織物の名称による分類と特徴Ⅰ 15. 織物の名称による分類と特徴Ⅱ 				

科目名	就職講座Ⅱ			
単位数	1単位（16時間）		科目コード	2026FD209
必・選の別	必修	開講時期	前期	授業の形式
学科（コース）・学年	ファッションデザイン科2年			
担当教員名	小暮哲也			
教員の実務経験の有無と該当教員のプロフィール	フリーランスのコンサルタント リクルートや楽天の採用面接官を経験し、今までの実績は1000人以上 他校で就職講座を複数実施、他科目ではマーケティングやベンチャービジネスを担当			
授業の目標および概要	就職活動を実行する前に ①基本的な社会構造 ②就職活動の本質 ③キャリアプランお立て方を理解し、書類作成や面接実施に関して ①基礎的な論理性 ②受験者として考慮すべき事項 ③実務の詳細を学び実行できる状態になる			
使用教材・教科書等	教科書は不使用 独自のワークシートを使用予定			
成績評価方法	提出物100%(出席率も加味する)			
授 業 計 画				
1. 就職活動に向けたマインドセット 2. 就職活動の本質的な概要とプロトコル 3. 求人票と企業の分析 4. プロトコルに沿ったレクチャー ①履歴書 ②エントリーシート ③面接 ④メール等コンタクト 5. 特別な事例（SPIやポートフォリオ）と考え方・対策				

科目名	特別講義Ⅱ			
単位数	4単位（66時間）		科目コード	2026FD210
必・選の別	必修	開講時期	通年	
学科（コース）・学年	ファッションデザイン科2年・ファッションテクニカル科2年			
担当教員名	各回ゲスト講師			
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	-			
授業の目標および概要	<p>座学では現場で活躍する講師を迎え、ファッション業界の最新の動向を知るとともに、普段の授業だけでは学ぶことのできない幅広い知識を身につける。</p> <p>校外授業では、イベントを通して他クラス・他学年と交流を深める。また展示会・展覧会を見学することで感性を養うことを目的とする。</p>			
使用教材・教科書等	特になし			
成績評価方法	出席率（100%）			
授 業 計 画				
<p>《座学》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. コレクション解説 2. マスコミ社会学 3. 生産管理 4. YKKファスニングアワードについて 5. フォトテクニク 6. デニムについて 7. TRパターン 8. デザイン発想 9. ボタンについて 10. 卒業生講話 11. 上級生講話 <p>《郊外授業》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 体育祭 2. 研修旅行 3. YKKファスニングアワード 4. テキスタイルスコープ 				

科目名	ゼミナール衣裳Ⅰ			
単位数	1単位（20時間）		科目コード	2026FD211
必・選の別	自由選択	開講時期	後期	授業の形式 講義
学科（コース）・学年	ファッションデザイン科2年・ファッションテクニカル科2年			
担当教員名	横倉アユミ			
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である横倉アユミは、衣裳業務に携わっている実績を踏まえ、衣裳製作の実務者の観点から授業を行う。			
授業の目標および概要	衣裳についての講義を通して衣裳製作業務のリアルを学ぶ。			
使用教材・教科書等	なし			
成績評価方法	なし			
授 業 計 画				
1.既制服と衣裳の違いを解説 2.既制服から衣裳リメイク解説(ボトム編) 3.既制服から衣裳リメイク解説(トップス編) 4.プレゼンテーション				

科目名	服飾Ⅰ			
単位数	27単位（660時間）		科目コード	2026FT101
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式
学科（コース）・学年	ファッションデザイン科1年・ファッションテクニカル科1年			
担当教員名	FD：高橋明美、FT：品田真理子			
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である品田真理子はオフィスしみずにてスタイリストとして、TV、雑誌、CM、イベントの出演者の衣装制作、サイズ直し、スタイリング等の業務に携わった実績を踏まえ、衣装制作、サイズ直し、スタイリング等の実務者の観点から授業を行う。			
授業の目標および概要	人間力…自分で考える力 伸び代のある人間 技術力…服がわかり、服として表現する力 上記を兼ね備えた上で、クリエイティブで、個性的な表現を知る 時代の感覚を知る 服作りの楽しさを知る			
使用教材・教科書等	文化服装教本 服飾造形の基礎・スカート/パンツ・ジャケット/ベストシャツ/ブラウス PM検定3級問題集			
成績評価方法	試験100%			

授 業 計 画

1. 服飾造形の基礎…概説・用具・手縫い・ミシン縫い・ロックミシン縫い
2. 体型研究…体型研究
3. パンツ…実物製作
4. スカート…実物製作・着装発表会
5. ブラウス・シャツ…実物製作・着装発表会
6. ワンピース…実物製作・着装発表会
7. ジャケット…実物製作・着装発表会
8. 修了ショー…実物製作・ファッションショー
9. PM…PM3級検定用ブラウス
10. ドレーピング基礎…身頃、袖、タイトスカート
11. ドレーピング…PM3級検定用ブラウス
12. 基礎縫い・部分縫い…手縫い・ミシン縫い・ロックミシン縫い
13. グレーディング…タイトスカート・フレアスカート
14. 手芸…欧風刺繍

科目名	CAD I			
時間数	2単位(46時間)		科目コード	2026FT102
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式
学科(コース)・学年	ファッションテクニカル科1年			
担当教員名	高橋明美			
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である高橋明美は、フリーランスとしてパターンメイキング、サンプル縫製に2年以上携わった実績を踏まえ、パターンメイキングの実務者の観点から授業を行う。			
授業の目標および概要	CADの基本操作の習得。 ショートカットを使いながら、服飾の授業で勉強した作図をCADに置き換えて早く正確に引けるようになる。			
使用教材・教科書等				
成績評価方法	課題50% 試験50%			
授 業 計 画				
1. 図形の練習 2. 原型作図 3. タイトスカート作図 4. スカートの展開 5. シャツのパターン作成 パーツ化、縫い代付け 6. ブラウス作図 (PM検定) 7. パンツ作図 8. テスト 9. ジャケット見返し、表衿の展開				

科目名	基礎デザイン			
単位数	1単位（16時間）		科目コード	2026FT103
必・選の別	必修	開講時期	前期	授業の形式
学科（コース）・学年	ファッションデザイン科1年・ファッションテクニカル科1年			
担当教員名	品田真理子			
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である品田真理子はオフィスしみずにてスタイリストとして、TV、雑誌、CM、イベントの出演者の衣装制作、サイズ直し、スタイリング等の業務に携わった実績を踏まえ、衣装制作、サイズ直し、スタイリング等の実務者の観点から授業を行う。			
授業の目標および概要	ファッションデザインに限らず、身の回りのモノも含め『デザイン』を理解する。 実習を通し、デザイン技法の理解・習得する。			
使用教材・教科書等	教科書「デザイン」、ベーシックカラー140			
成績評価方法	課題100%			
授 業 計 画				
1. 「ユニティ」 セントラリティ・ドミナント 説明・実習、合評・提出 2. 「リズム」 レピテーション・グラデーション 説明・実習、合評・提出 3. 「バランス」 シンメトリー・アシンメトリー 説明・実習、合評・提出				

科目名	クリエイションⅠ			
単位数	0単位（16時間）		科目コード	2026FT104
必・選の別	必修	開講時期	後期	授業の形式
学科（コース）・学年	ファッションデザイン科1年・ファッションテクニカル科1年			
担当教員名	市川マーカス知利			
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	株式会社VanCia、アパレル部にてJUSMA、MARCUS COVINGTONのデザイン及び縫製を担当。 より実践的なデザイン、縫製業務の実績を踏まえて務者の観点から授業を行う。			
授業の目標および概要	①自分らしさ、オリジナリティを見つけ出す ②コンテストデザイン画（2年生に向けて）：入選できるように強化する			
使用教材・教科書等	スマートフォン、iPad、アップルペンシル 雑誌、印刷物も使用→コラージュのため			
成績評価方法	課題100%			

授 業 計 画

- ①自分らしさ、オリジナリティを見つけ出す
自分がやりたいこと、作りたい物の発見と同時に、自分が知らなかったやるべきことと、作るべきものを見つけ出す。
- ②コンテストデザイン画（2年生に向けて）
デザイン画を描く楽しさよりも、デザインすることの楽しさ、デザインだけでなくテクニックやディテールの表現を楽しみたいという感情に変えたい。
デザインだけでは意味がないので、「うまくデザイン画を描かないといけない」「課題として提出しなければならない」ではなく自分にしか表現できないクリエイションを形に残したいと思えるような授業を行う。
コンテストデザインに必ず入選できるよう強化。
- 今の時代、誰から教わるのがとても重要な時代であるとする。
個人的なインフルエンサー力や、憧れを持ってもらえるような講師として、生徒とは壁を作らずシンプルにマーカスのような服飾関係者になりたいと思えるような授業を行いたい。
- ③修了ショーに落とし込めるクリエイションの訓練
①、②を生かしつつ修了ショー作品に落とし込めるデザインを作成する

科目名	スタイル画Ⅰ			
単位数	2単位（46時間）		科目コード	2026FT105
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式
学科（コース）・学年	ファッションデザイン科1年・ファッションテクニカル科1年			
担当教員名	渡辺直樹			
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である渡辺直樹は、フリーランスとしてのファッションイラスト制作に30年以上携わった実績を踏まえ、ファッションイラストレーションの実務者の観点から授業を行う。			
授業の目標および概要	<p>【目標】線画での身体、服の描き方、iPad (Adobe Fresco)での着色方法を覚える。</p> <p>【概要】スタイル画の基礎、プロポーション、顔、身体などの描き方、平絵、Adobe Frescoの使い方を学ぶ。</p>			
使用教材・教科書等	スマートフォン、iPad、アップルペンシル、シャーペン、スケッチブック			
成績評価方法	課題100%			

授 業 計 画

- 1.スタイル画のバランスとプロポーション
- 2.マップからのデザイン画
- 3.ワンピース（布帛）
- 4.クロッキー
- 5.夏季課題
- 6.ハンガーイラスト
- 7.衿について
- 8.シルエットからのデザイン
- 9.ショーピースのデザイン画

科目名	マテリアルⅠ			
単位数	2単位（30時間）		科目コード	2026FT106
必・選の別	必修	開講時期	前期	授業の形式
学科（コース）・学年	ファッションデザイン科1年・ファッションテクニカル科1年			
担当教員名	池邊初恵			
教員の実務経験の有無と該当教員のプロフィール	講師である池邊初恵は、(株)グラン山貴、(株)キング、(株)レナウン、ホロン(株)にて企画・デザイン業務ののち、フリーランスとしてオーダーメイドに35年以上携わった実績を踏まえ、ファッション商品企画・デザイナーの実務者の観点から授業を行う。			
授業の目標および概要	<p>【目標】・被服素材の基礎知識の習得。</p> <p>・素材の成り立ちと特徴を理解し、服との関係性の習得。</p> <p>【概要】・被服素材の基礎と服のデザインやパターンとの関連性を解説する。</p> <p>・画像や実物の説明から視覚からの認知を高める。</p>			
使用教材・教科書等	アパレル素材論(文化服装学院)・生地事典(みずしま)			
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・前期末テスト…筆記 ・授業内作品 			

授 業 計 画

1. マテリアルとは？ マテリアルの知識とアパレルとの関係
2. 繊維の分類
 - 繊維の特徴1・・・天然繊維（植物）
3. 繊維の特徴2・・・天然繊維（動物）
4. 繊維の特徴3・・・化学繊維
5. 繊維の特徴4・・・化学繊維
6. 繊維の性質 ※燃焼実験
7. 糸の分類・・・紡績糸 フィラメント糸
8. 糸の構造・・・撚り 単位 意匠糸の知識
9. 織物の歴史と織り工程
10. 織物の規格と構造
11. 織物の組織・・・三原組織
12. 織物の組織・・・変化組織 期末テスト予習
13. ※織実習
14. 織物の特殊組織 期末テスト復習
15. 織機の種類 品質表示

科目名	カラー I			
単位数	2単位 (46時間)		科目コード	2026FT107
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式
学科(コース)・学年	ファッションデザイン科1年・ファッションテクニカル科1年			
担当教員名	原田弘美			
教員の実務経験の有無と該当教員のプロフィール	-			
授業の目標および概要	カラーシステムをもとに、色彩の基礎である色の三属性、光と色、色彩の感情効果などを学びます。また、色彩の特性を理解したうえで、バランスのとれた基本配色や、イメージ豊かな色彩表現が行なえることを目標とします。			
使用教材・教科書等	文化ファッション大系「服飾デザイン」、ペーシックカラー-140、199b配色カード、カッター、カッター定規、のり、ノット、筆記具			
成績評価方法	試験50% 課題50%			
授 業 計 画				
1. カラーシステム・・・色の三属性 pccs24色相、明度、彩度 4コマ 2. 作品制作①・・・「色相環・ニュートラルカラーズ」 2コマ 3. 色のイメージ・・・色の暖寒感、トーンのしくみ、トーンのイメージ 3コマ 4. 色の見え・・・色の対比、同化、進出性後退性、膨張収縮など 2コマ 5. 色彩の科学・・・光と色彩、目のしくみ、三原色、混色など 2コマ 6. 色名・・・色名の種類 日本の色、ヨーロッパの色 1コマ 7. 作品制作②・・・色彩の共感覚「味覚と色彩」 2コマ 8. 配色の基礎・・・マンセルカラーシステム、色相基準配色、トーン基準配色 4コマ 9. 作品制作③・・・「カラーコーディネーション」 3コマ				

科目名	ファッションビジネス概論			
単位数	2単位 (36時間)		科目コード	2026FT108
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式
学科 (コース) ・学年	ファッションテクニカル科 1年			
担当教員名	宮崎 弘亘			
教員の実務経験の有無と該当教員のプロフィール	学卒後、服飾系専門学校で服作りを学ぶ。その後、20数年に亘ってアパレル・繊維関連の複数企業で営業、企画、生産管理等を経験。繊維系第三者検査機関での渉外職を経て、2020年に中小企業診断士事務所を開業し、現在は専門家として公的機関等での中小企業支援に従事する。これらの経験を踏まえて、これからの業界に求められる人材像をイメージしながら授業を行う。			
授業の目標および概要	<ul style="list-style-type: none"> * アパレル業界の仕組み、流れの理解 * 商品企画に対する理解を深める * 就職を意識した業界分類と職種の把握 * 一部ファッションビジネス能力検定3級含む 			
使用教材・教科書等	タブレット端末 (iPad) 、等			
成績評価方法	課題・試験			

授 業 計 画

ファッションビジネス概論

1)ファッションビジネスの概要

イントロダクション (講師のこと、働くということ等) /ファッションビジネスとは? /ファッションビジネスの対象、等

2)繊維・ファッション産業の概要① (産業の全体を知る)

繊維産業、ファッション産業の概要についての理解 /国内のアパレル市場の状況を知る /国内ファッション産業の80年を概観、等

3)繊維・ファッション産業の概要② (業種・業態)

素材関連産業の理解 /アパレル産業における様々な業種・業態 /世界のコレクション、等

4)繊維・ファッション産業の概要③ (消費者と消費行動)

消費および消費者の概念を理解 /消費行動について /消費者をめぐる問題と法律について、等

5)アパレル企業における仕事の流れ

アパレル企業における仕事の流れ /職種と役割 /企業の事例を学ぶ、等

6)ファッションビジネスにおけるマーケティングの基本①

マーケティングの基本を理解する

7)ファッションビジネスにおけるマーケティングの基本②

マーケティングの基本をより深く理解する /ワーク

8)最近の業界・市場から今後の流れを読む

カーボンニュートラルへの要求など近年業界をとりまく環境や最新のトピックについて /開発時に織り込む品質について

9)ファッションマーチャンダイジングの基本①

マーチャンダイジングの基礎知識 /商品企画、生産管理、販売の流れ /関連用語

10)ファッションマーチャンダイジングの基本②

マーチャンダイジングにおける計数管理 (売上、原価、利益など) の基本を学ぶ /ワーク

11)ファッションビジネスにおける商品企画①

商品企画 (開発) のプロセスを学ぶ /ワークの説明

12)ファッションビジネスにおける商品企画②

個人ワーク (Tシャツの商品企画)

13)ファッションビジネスにおける商品企画③

グループワーク (個人ワークでの成果を小グループ単位でプレゼン)

14)ファッションビジネスの現場を知る

ゲストスピーカーを招きインタビュー形式でお話を伺う

15)授業の振り返り

これまでに学んだ内容の復習 /最新の業界動向にもとづいた知識の補完

科目名	西洋服装史			
単位数	2単位（30時間）		科目コード	2026FT109
必・選の別	必修	開講時期	後期	授業の形式
学科（コース）・学年	ファッションデザイン科1年・ファッションテクニカル科1年			
担当教員名	原田弘美			
教員の実務経験の有無と該当教員のプロフィール	-			
授業の目標および概要	衣服の起源と古代から現代までの西洋服飾の変遷を、映像を使用しながら解説します。文化、芸術、宗教など様々な歴史との関連を持つ装いを理解し、過去の装いが現代のファッションやデザイナーに影響を与えていることを踏まえつつ、興味と知識を深め、新たなデザイン発想に活かせることを目標とします。			
使用教材・教科書等	文化ファッション大系「西洋服装史」、タブレットノート、ペン			
成績評価方法	試験100%			
授 業 計 画				
1. 衣服の起源・・・・・・・・衣服の起源と役割 1コマ 2. 古代の服飾・・・・・・・・古代エジプト、古代ギリシャ、古代ローマの服飾 1コマ 3. 中世の服飾・・・・・・・・ビザンチン、ロマネスク、ゴシックの服飾 1コマ 4. 近世の服飾・・・・・・・・ルネサンス、バロック、ロココの服飾 3コマ 5. 近代の服飾・・・・・・・・第一帝政時代、第二帝政時代、第三共和制時代の服飾 1コマ 19世紀末期の服飾、スポーツウエア、19世紀男性スタイル 1コマ 6. 現代の服飾・・・・・・・・ファッション産業の基盤 20世紀初頭の服飾 1コマ 1920年代～1950年代のファッション 3コマ 1960年代～2000年代のファッション 3コマ				

科目名	就職講座Ⅰ			
単位数	1単位（16時間）		科目コード	2026FT110
必・選の別	必修	開講時期	後期	授業の形式
学科（コース）・学年	ファッションテクニカル科1年			
担当教員名	小暮哲也			
教員の実務経験の有無と該当教員のプロフィール	フリーランスのコンサルタント リクルートや楽天の採用面接官を経験し、今までの実績は1000人以上 他校で就職講座を複数実施、他科目ではマーケティングやベンチャービジネスを担当			
授業の目標および概要	就職活動を視野に ①キャリアプランの基本的な考え方 ②プランの実現のために必要な事を把握し、プラン立案可能な状態となる、そのために ①基本的な社会構造 ②企業の人材に対する考え方 ③企業分析の基礎を理解しマインドセットの基礎とする			
使用教材・教科書等	教科書は不使用 独自のワークシートを使用予定			
成績評価方法	提出物100%(出席率も加味する)			
授 業 計 画				
1. 就職活動に向けたマインドセット 2. 就職活動の本質的な概要とプロトコル 3. 求人票と企業の分析についての基礎 4. 必要なナレッジ・スキル ①論理性 ②スピード感 ③地頭 ④相場感				

科目名	特別講義Ⅰ			
単位数	3単位（52時間）		科目コード	2026FT111
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式
学科（コース）・学年	ファッションデザイン科1年・ファッションテクニカル科1年			
担当教員名	各回ゲスト講師			
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	-			
授業の目標および概要	現場で活躍する講師を迎え、ファッション業界の最新の動向を知るとともに、普段の授業だけでは学ぶことのできない幅広い知識を身につける。			
使用教材・教科書等	特になし			
成績評価方法	授業への出席（100%）			

授 業 計 画

《座学》

1. 什器工学
2. コレクション情報
3. ファスナー 他の基本
4. 資材について
5. 選挙・校長講話
6. フォトテクニック
7. コレクション解説
8. YKK
9. SNS
10. 就職（森田先生）
11. 卒業生講話
12. 在校生講話・他学年先生のお話

《校外授業》

1. フレッシュマン研修
2. 親睦会
3. 運動会
4. 美術展見学
5. 展示会见学
6. ファッションショー見学

科目名	服飾造形 II				
単位数	24単位 (580時間)		科目コード	2026FT201	
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式	講義・実習
学科(コース)・学年	ファッションテクニカル科2年				
担当教員名	細野早紀				
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である細野早紀は、複数のアパレルメーカーで婦人服パターン製作に20年以上携わった実績を踏まえ、パタンナーの実務者の観点から授業を行う。				
授業の目標および概要	<ul style="list-style-type: none"> ・平面と立体を理解し表現ができる ・服の構造を理解したうえでパターン作成、縫製ができる ・服の構造に対する探究心を持つパタンナー、縫製士 				
使用教材・教科書等	文化服装教本 コート/ケープ・ジャケット/ベスト 礼装常識テキスト、各種プリントetc.				
成績評価方法	試験100%				
授 業 計 画					
<ol style="list-style-type: none"> 1. カットソー…講義・パターンメイキング・実物製作 2. 衣装制作…講義・デザイン相談・パターンメイキング・実物製作 3. コラボ企画…実物製作 4. ウィンターコート…講義・デザイン相談・パターンメイキング・実物製作・部分縫い 5. 修了作品…デザイン相談・パターンメイキング(トワル組み立て)・実物製作 6. 関連講義…被服と私たち・体型観察・既製服衣料サイズ・プリーツについて・礼装常識 7. 部分縫い…講義・ステンカラー・比翼・ポケット3種・ふらし・ファスナー部分縫い 8. パターンメイキング…ダーツの展開・スカートの展開・ネックラインの処理・袖の展開・PM検定・グレーディング 9. ドレーピング…原型・ダーツ遊び・ヨーク付きギャザースカート・オーバーブラウス・ワンピース テーラードジャケット・修了作品(トワル)・PM検定 10. 手芸…キルティング・ビーズ刺繍 					

科目名	CAD II			
単位数	2単位 (50時間)		科目コード	2026FT202
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式
学科(コース)・学年	ファッションテクニカル科2年			
担当教員名	親松俊介			
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である親松俊介は、企業にてパターン作成、生産管理、裁断、品質管理業務に従事した実績を踏まえ、実務者の観点から授業を行う。			
授業の目標および概要	<p>【目標】 パタンナーの必須技術であるCADオペレーションを使える技術にする。紙上の製図をCADでもできるようにする。毎回の説明を簡潔に、機能も絞って、繰り返し使用することで技術を「自分のもの」にしていく。なぜそうするのか?という理論を理解する。</p> <p>【概要】 ・パターンメイキングの理論と技術 ・マーキング ・管理表作成</p>			
使用教材・教科書等	PC 東レクレアコンポ 各自のiPad ノート			
成績評価方法	出席率と提出物の平均			
授 業 計 画				
<ol style="list-style-type: none"> 1. ダーツ展開 身頃原型 スカート原型 2. ダーツ展開の応用～ギャザーとタック 自動機能の習得 3. アンブレラスカート ベルトと持ち出し 4. グレーディングの考え方 パターンメイキング検定対策 5. 縫い代の考え方・つけ方 パーツ化と縫い代 6. 管理表作成 既存の元型から必要なパーツを作って、パターン管理表を作成、印刷して提出する 7. ジャケット作図(原型展開～作図、裏地作成、パーツ化、工業用パターンまで) 管理表作成して提出 8. 上記以外にも、パターンテクニックや、旬の話題を取り入れていく。 				

科目名	3DCAD I			
単位数	2単位（46時間）		科目コード	2026FT203
必・選の別	必修	開講時期	前期	授業の形式
学科（コース）・学年	ファッションデザイン科2年・ファッションテクニカル科2年			
担当教員名	平川将太郎			
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である平川将太郎は、(株)ベビーフェイスに3年以上携わった実績を踏まえ、デザイン・企画・提案の実務者の観点から授業を行う。			
授業の目標および概要	CLOの基本操作を習得をはじめとして、レンダリング出力、モーション設定、生地物性測定など、幅広い技術を身に付ける。			
使用教材・教科書等	なし			
成績評価方法	課題80%，出席率20%			

授 業 計 画

1. 基本的な操作演習
2. アイテムの作成とデザイン変更
3. 各種ディテール表現
4. 生地物性測定
5. レンダリングとモーション

科目名	企業コラボ I			
単位数	1単位 (16時間)		科目コード	2026FT204
必・選の別	必修	開講時期	通年	
学科 (コース) ・学年	ファッションデザイン科2年・ファッションテクニカル科2年			
担当教員名	千々和年功			
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である千々和年功は、企業にて商品企画・生産・販売・広報・店舗開発・人事教育・海外支社に携わり、会社設立後は店舗運営、マーケティングコンサル、ショップチャンネルにて企画生産販売業務に携わった実績を踏まえ、実務者の観点から授業を行う。			
授業の目標および概要	<p>学生達が企画から生産までの企業の仕事の流れを経験することを目的とし、オリジナルブランドを企画し、ターゲットに向けて商品を企画・製作しポップアップストアを運営する。商品企画をする為にリサーチを行い、ターゲットの志向やトレンドを分析する。</p> <p>SNSでの効果的なPR方法を模索する。商品の原価と上代の設定方法を学ぶ。</p> <p>ポップアップストア運営の結果の分析と改善策の検討をする。</p>			
使用教材・教科書等	特になし			
成績評価方法	出席100%			
授 業 計 画				
<ol style="list-style-type: none"> 1. コンセプトワーク 2. コンセプト、ブランド名、商品構成の選定 3. ターゲットの設定、出店エリアの検討・決定 4. 出店エリアリサーチ・分析 5. デザイン出し、DMデザイン、下げ札、織ネーム検討 6. デザイン検討会、素材の検討 8. PR方法の検討、実行(SNS用の動画撮影、ルック撮影) 9. 商品製作 10. 商品検品、販売ロールプレイング 11. 販売実習 12. 結果の分析、総括 				

科目名	衣装製作 I			
単位数	4単位 (106時間)		科目コード	2026FT205
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式
				講義・実習
学科(コース)・学年	ファッションテクニカル科2年			
担当教員名	細野早紀・野口祐輝・前田柊			
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール				
授業の目標および概要	<ul style="list-style-type: none"> ・平面と立体を理解し表現ができる ・服の構造を理解したうえでパターン作成、縫製ができる ・服の構造に対する探究心を持つパタンナー、縫製士 			
使用教材・教科書等	文化服装教本 コート/ケープ・ジャケット/ベスト 礼装常識テキスト、各種プリントetc.			
成績評価方法	出席率100%			
授 業 計 画				
<ol style="list-style-type: none"> 1. (株)TARKS様…衣装についての講義 2. (株)SHU PRODUCTION様…このアイドルはフィクションについて講義 3. キックオフミーティング 4. 衣装制作 (デザイン出し・パターンメイキング・実物製作) 5. 仮縫いフィッティング・実物フィッティング 6. 衣装完成ライブの取材 7. 総括 				

科目名	スタイル画Ⅱ			
単位数	2単位（46時間）		科目コード	2026FT206
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式
学科（コース）・学年	ファッションテクニカル科2年			
担当教員名	渡辺直樹			
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である渡辺直樹は、フリーランスとしてのファッションイラスト制作に30年以上携わった実績を踏まえ、ファッションイラストレーションの実務者の観点から授業を行う。			
授業の目標および概要	スタイル画の表現力向上。 観察に基づいた考察と、それを反復して描く事がとても大切である。描画量を増やすことで画力は向上する。就職活動に対応できる画力を得ることを目指す。			
使用教材・教科書等	マーカー、PMPAD、ミリペン、iPadなど			
成績評価方法	課題100%			

授 業 計 画

1. 外部コンペ（ナゴヤ）
2. 外部コンペ（日暮里）
3. 衿、ハンガーイラスト
4. 外部コンペ（千年大賞）
5. 全国服飾学校協会ファッション画コンクール
6. 素材別表現：レース・シースルー
7. 素材別表現：布帛秋冬物素材
8. 素材別表現：レザー・ファー

科目名	マテリアルⅡ			
単位数	2単位（30時間）		科目コード	2026FT207
必・選の別	必修	開講時期	前期	授業の形式
学科（コース）・学年	ファッションデザイン科2年・ファッションテクニカル科2年			
担当教員名	池邊初恵			
教員の実務経験の有無と該当教員のプロフィール	講師である池邊初恵は、(株)グラン山貴、(株)キング、(株)レナウン、ホロン(株)にて企画・デザイン業務ののち、フリーランスとしてオーダーメイドに35年以上携わった実績を踏まえ、ファッション商品企画・デザイナーの実務者の観点から授業を行う。			
授業の目標および概要	【目標】 ・繊維の加工の種類と特徴の知識の習得と理解 ・アパレルにおける染色についての理解と染色方法の理解 【概要】 ・1年次の繊維の知識をより深め、服との関係性のバリエーションを高める。			
使用教材・教科書等	アパレル素材論(文化服装学院)/生地事典(みずしま)			
成績評価方法	・前期末テスト…筆記 ・授業内作品			
授 業 計 画				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 1年次の復習とそれぞれの素材と商品の適合 2. 繊維別仕上げ加工…天然繊維 3. 繊維別仕上げ加工…化学繊維 ※熱可塑性実習 4. 目的別仕上げ加工…外観、風合いに変化を与える加工 5. 目的別仕上げ加工…特殊な性能を与える加工、新たな素材を得る加工 6. ※素材とデザインの適合ワークⅠ 編地…ニット・カットソーの製造プロセス 7. 編地…編地の組織と分類 8. 編地…自動機と手動横編み機 9. 染色…アパレル製品の染め 10. 染色 浸染—染料(天然染料と合成染料) 11. ※染色実習 12. ※染色実習 期末テストの予習 13. 染色 実習の確認 捺染プリント 14. ※素材とデザインの適合ワークⅡ 織物の名称による分類と特徴Ⅰ 15. 織物の名称による分類と特徴Ⅱ 				

科目名	就職講座Ⅱ			
単位数	1単位（16時間）		科目コード	2026FT209
必・選の別	必修	開講時期	前期	授業の形式
学科（コース）・学年	ファッションテクニカル科2年			
担当教員名	小暮哲也			
教員の実務経験の有無と該当教員のプロフィール	フリーランスのコンサルタント リクルートや楽天の採用面接官を経験し、今までの実績は1000人以上 他校で就職講座を複数実施、他科目ではマーケティングやベンチャービジネスを担当			
授業の目標および概要	就職活動を実行する前に ①基本的な社会構造 ②就職活動の本質 ③キャリアプランお立て方を理解し、書類作成や面接実施に関して ①基礎的な論理性 ②受験者として考慮すべき事項 ③実務の詳細を学び実行できる状態になる			
使用教材・教科書等	教科書は不使用 独自のワークシートを使用予定			
成績評価方法	提出物100%(出席率も加味する)			

授 業 計 画

1. 就職活動に向けたマインドセット
2. 就職活動の本質的な概要とプロトコル
3. 求人票と企業の分析
4. プロトコルに沿ったレクチャー
 - ①履歴書
 - ②エントリーシート
 - ③面接
 - ④メール等コンタクト
5. 特別な事例（SPIやポートフォリオ）と考え方・対策

科目名	特別講義Ⅱ			
単位数	4単位（66時間）		科目コード	2026FT210
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式
学科（コース）・学年	ファッションデザイン科2年・ファッションテクニカル科2年			
担当教員名	各回ゲスト講師			
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	-			
授業の目標および概要	<p>座学では現場で活躍する講師を迎え、ファッション業界の最新の動向を知るとともに、普段の授業だけでは学ぶことのできない幅広い知識を身につける。</p> <p>校外授業では、イベントを通して他クラス・他学年と交流を深める。また展示会・展覧会を見学することで感性を養うことを目的とする。</p>			
使用教材・教科書等	特になし			
成績評価方法	出席率（100%）			
授 業 計 画				
<p>《座学》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. コレクション解説 2. マスコミ社会学 3. 生産管理 4. YKKファスニングアワードについて 5. フォトテクニク 6. デニムについて 7. TRパターン 8. デザイン発想 9. ボタンについて 10. 卒業生講話 11. 上級生講話 <p>《郊外授業》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 体育祭 2. 研修旅行 3. YKKファスニングアワード 4. テキスタイルスコープ 				

科目名	ゼミナール衣裳Ⅰ			
単位数	1単位（20時間）		科目コード	2026FT211
必・選の別	自由選択	開講時期	後期	授業の形式 講義
学科（コース）・学年	ファッションデザイン科2年・ファッションテクニカル科2年			
担当教員名	横倉アユミ			
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である横倉アユミは、衣裳業務に携わっている実績を踏まえ、衣裳製作の実務者の観点から授業を行う。			
授業の目標および概要	衣裳についての講義を通して衣裳製作業務のリアルを学ぶ。			
使用教材・教科書等	なし			
成績評価方法	なし			
授 業 計 画				
1.既制服と衣裳の違いを解説 2.既制服から衣裳リメイク解説(ボトム編) 3.既制服から衣裳リメイク解説(トップス編) 4.プレゼンテーション				

科目名	服飾Ⅲ				
単位数	27単位（674時間）		科目コード	2026FD研01	
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式	講義、実習
学科（コース）・学年	ファッションデザイン研究科				
担当教員名	中宏樹				
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である中宏樹は、企業にてパターンメイキングに3年以上携わった実績を踏まえ、パターンメイキングの実務者の観点から授業を行う。				
授業の目標および概要	人間力…自分で考え行動し発信する事が出来る人。コミュニケーション能力の高い人 技術力…服の構造と仕組みがわかる。デジタルを活用する力 上記を兼ね備えた上で、 ・クリエイティブで個性的な表現が出来る ・時代の感覚をキャッチして、ニーズに合った提案が出来る ・デザインに対する探求心を持つデザイナー				
使用教材・教科書等	各素材別テキスト				
成績評価方法	課題100%(課題に定期試験も含む)				
授 業 計 画					
1. 就活用作品…講義、パターンメイキング、製作実習 2. 皮革作品…講義、部分縫い、パターンメイキング、製作実習 3. 薄物について…講義、部分縫い 4. 企画作品…製作実習 5. マイブランド作品…パターンメイキング、製作実習 6. プリント作品…パターンメイキング、製作実習 7. リバーシブルについて…講義、部分縫い 8. レースについて…講義 9. フォーマル素材について…講義、部分縫い、パターンメイキング、製作実習 10. パターンメイキング…ラグランスリーブ、きものスリーブ、ジャケット2種 11. ドレーピング…ビスチェ、ワンピース、スカート 12. デザイン構成…皮革、薄物、リバーシブル、レースのマップ製作、デザインバリエーション 13. 定期試験2回(前期末、後期末)					

科目名	CG III			
単位数	1単位（16時間）		科目コード	2026FD研02
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式
学科（コース）・学年	ファッションデザイン研究科			
担当教員名	今井利匡			
教員の実務経験の有無と該当教員のプロフィール	講師である今井利匡は、企業のインハウスデザイナー及びフリーランスとしてグラフィックデザイン業務に15年以上携わった実績を踏まえ、グラフィックデザイナーの実務者の観点から授業を行う。			
授業の目標および概要	グラフィックデータのレポート、送りの基礎を学び 生地へのグラフィックデータの印刷方法、グラフィックソフトの応用方法を習得する			
使用教材・教科書等	Adobe ILLUSTRATOR・PHOTOSHOP USBメモリ			
成績評価方法	課題 100% (平均点)			
授 業 計 画				
1. データのレポート、送り、生地プリントの基礎（2コマ） グラフィックデータのパターン化、生地へのプリントについて学ぶ 2. オリジナルテキスタイル作成（4コマ） オリジナルのテキスタイルデータの作成、入稿データの作成方法を学ぶ				

科目名	スタイル画Ⅲ				
単位数	2単位（46時間）			科目コード	2026FD研03
必・選の別	必修	開講時期	前期	授業の形式	実習
学科（コース）・学年	ファッションデザイン研究科				
担当教員名	渡辺直樹				
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である渡辺直樹は、フリーランスとしてのファッションイラスト制作に30年以上携わった実績を踏まえ、ファッションイラストレーションの実務者の観点から授業を行う。				
授業の目標および概要	スタイル画の表現力向上。 観察に基づいた考察と、それを反復して描く事がとても大切である。描画量を増やすことで画力は向上する。就職活動に対応できる画力を得ることを目指す。				
使用教材・教科書等	マーカー、PMPAD、ミリペン、iPadなど				
成績評価方法	課題100%				
授 業 計 画					
<ol style="list-style-type: none"> 1. ダーツ、ギャザー、タックに特化したデザイン速描き「ワンピース」3体 2. 速描き「ワンピース」3体 3. 速描き「系統別ルック（布帛）」3体 4. 速描き「カット・ソー、パンツとスカート」3体 5. 速描き「ジャケット、パンツとスカート」3体 6. 速描き「就活想定1：春夏物」3体 7. 速描き「就活想定2：秋冬物」3体 8. 速描き「就活想定3：自選テーマ」3体 9. 全国服飾学校ファッション画コンクール 					

科目名	マテリアルⅢ			
単位数	2単位（30時間）		科目コード	2026FD研04
必・選の別	必修	開講時期	前期	授業の形式
学科（コース）・学年	ファッションデザイン研究科・ファッションテクニカル研究科			
担当教員名	青木文子			
教員の実務経験の有無と該当教員のプロフィール	講師である青木文子は、マテリアル（化繊検査協会・西武百貨店・オールスタイル(株)等で企画・品質管理業務）に40年以上携わった実績を踏まえ、マテリアル全般（繊維製品品質管理士TES-一級衣料管理士TA）の実務者の観点から授業を行う。			
授業の目標および概要	<p>アパレル業界で活躍できる人材の育成。</p> <p>アパレルの製造・品質・流通・消費の流れを理解する。</p> <p>素材特性を理解しクレームを未然に防止する商品企画・品質管理の知識の習得。</p>			
使用教材・教科書等	アパレル素材論			
成績評価方法	課題60％ 授業態度40％			
授 業 計 画				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 着用衣類の組成表示・絵表示・注意表示の確認 2. 素材特性(天然繊維・化学繊維)解説 3. 家庭用品品質表示法 取り扱い絵表示の解説 <ul style="list-style-type: none"> 衣類の整理・保管 洗剤・仕上げ剤・漂白剤・防虫剤等の種類特性 家庭洗濯・商業洗濯の違いの説明 4. 衣類に関わる関連法規(家表法・景表法・薬事法等)・生地試験方法と評価の解説 5. 付属品(種類・製造方法)解説 <ul style="list-style-type: none"> 生地加工の解説(プリーツ・フロッキー・オパール・顔料プリント等) 6. 商業洗濯の解説と疑問点を探る(工場見学に向けて) 7. クリーニング工場見学及び質疑応答(見学中止の場合はスライド等講義) 8. アパレルクレーム事例解説 9. マテリアル講座総括 				

科目名	ブランディングプロデュース			
単位数	2単位（46時間）		科目コード	2026FD研05
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式
学科（コース）・学年	ファッションデザイン研究科・ファッションテクニカル研究科			
担当教員名	山田裕二			
教員の実務経験の有無と該当教員のプロフィール	講師である山田裕二は、(株)ユージヤマダデザインオフィスを設立し、国内、海外共に商品を展開し、更に様々なコラボブランドも展開している。 ブランド設立、会社経営の実務者の観点から授業を行う。			
授業の目標および概要	ブランド立ち上げる体験を目的とした内容が中心となる。専門知識も同時に理解してもらえる内容の授業を行う。「ファッション、ブランディングとは」などを理解した上で実践に向かう事を基本として授業を行い、イベントの審査員までを監修する。			
使用教材・教科書等	タブレット、PC、スマートフォン等			
成績評価方法	プレゼンテーション課題を評価			
授 業 計 画				
<ol style="list-style-type: none"> 1. ブランド立ち上げる体験を目的とした内容が中心となる。+リサーチ方法（1コマ） 2. 知識も同時に理解してもらえる内容の授業を行う。（1コマ） 3. ファッション、ブランディングの基礎、ブランディングとは。+ラフデザイン画（1コマ） 4. ブランドコンセプトとシーズンテーマはについて。（1コマ） 5. ターゲット、ジャンル、ミューズを決めていく方法。+ラフデザイン画（1コマ） 6. 自分自身のブランドコンセプト、テーマ、商品構成、平均プライス構成（1コマ） 7. 商品企画、生産、小売を知る+リサーチ、ライバルブランドを探す。デザイン構成（2コマ） 8. アイテム最終決定、及び店頭での展開方法、販促（SNS）（EC）など。（1コマ） 9. VMD、プライスタグ、織りネームグラフィック、デザイン画チェック商品バランス。（1コマ） 10. デザイン画の中で作成する商品の確認、素材イメージのチェック修正点など（1コマ） 11. 現在の進行状態を全員で共有。軌道修正。進行状態のチェック（1コマ） 12. ブランドディングのプレゼンテーション方法、プレゼン能力の向上（11コマ） 				

科目名	マーケットリサーチ			
単位数	1単位（16時間）		科目コード	2026FD研06
必・選の別	必修	開講時期	後期	授業の形式
学科（コース）・学年	ファッションデザイン研究科			
担当教員名	山田裕二			
教員の実務経験の有無と該当教員のプロフィール	講師である山田裕二は、(株)ユージヤマデザインオフィスを設立し、国内、海外共に商品を展開し、更に様々なコラボブランドも展開している。 ブランド設立、会社経営の実務者の観点から授業を行う。			
授業の目標および概要	市場調査（マーケット・リサーチ）方法を学ぶため、ファッションとして主要な街を全員で知る事から始めて、街全体のイメージを各学生がまとめ発表させる。同じく、ECのみのブランド、ECブランド=ショップを持つブランドでも良いが、オンラインショップ・マーケティング リサーチも同時に行う。その後、何を調べ、何を知る事が大切なのか、そして学生個人が捉えたショップの店頭、商品の見方を知る。VMDの理解、坪効率の理解、固定経費の理解等を知る。ブランドのジャンル、メンズ、ウィメンズのブランドポジションによるプライスレンジ、ショップ・ロケーション（路面店、インショップ等）全て自由にリサーチさせる。これらの方向性（ルール）を決めて、授業をスタートしていく。			
使用教材・教科書等	タブレット、PC、スマートフォン等			
成績評価方法	最終プレゼンテーションでの完成度100%を評価致します。			
授 業 計 画				
<p>1. 学生へこの授業の内容、概要を伝え、学生からの質問をうけ。今後のスケジュールの確認。 簡単にマーケット・リサーチ方法とECも含める現在の状況についての講義。 マーケットリサーチでの注意などの説明、授業最終日でのプレゼンについて伝える。 次回のリサーチを行う場所を説明する。（1コマ）・講義</p> <p>2. 天候などにより、変更あり、銀座近辺（2コマ）・マーケット・リサーチ</p> <p>3. 天候などにより、変更あり、新宿近辺（2コマ）・マーケット・リサーチ</p> <p>4. 天候などにより、変更あり、渋谷近辺（2コマ）・マーケット・リサーチ</p> <p>5. ※最終プレゼンテーション。 各自自由なパワーポイントで行う。 内容をプリントアウトしてクリアファイルにまとめ提出。（1コマ）・プレゼンテーション</p>				

科目名	衣服解剖学			
単位数	2単位（30時間）		科目コード	2026FD研07
必・選の別	必修	開講時期	前期	授業の形式
学科（コース）・学年	ファッションデザイン研究科・ファッションテクニカル研究科			
担当教員名	築田菜穂子			
教員の実務経験の有無と該当教員のプロフィール	講師である築田菜穂子は、(株)デサント、(株)フェニックス、(株)ジュンにて、パターン、デザイン業務に20年以上携わった実績を踏まえ、スポーツウエア、機能ウエア制作の実務者の観点から授業を行う。			
授業の目標および概要	衣服を制作する為の人体の見方、生かし方を具体的に解説していく。 それにより、機能ウエアに必要なデザインとパターンのポイントを把握出来るようにする。			
使用教材・教科書等	衣服解剖学			
成績評価方法	課題70%/出席30%			
授 業 計 画				
<p>人体のすがた・かたち、しかけ・しくみを機能ウエアに生かしていく。</p> <p>前半は上半身、後半は下半身の人体と機能ウエアについてを解説し、ブルゾンとパンツをシーティングで作成。ウエアの機能を検証をする。</p> <p>最後に上下が繋がったウエアの解説でまとめる。</p>				

科目名	企業コラボⅡ				
単位数	1単位（16時間）		科目コード	2026FD研08	
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式	講義
学科（コース）・学年	ファッションデザイン研究科・ファッションテクニカル研究科				
担当教員名	千々和年功				
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である千々和年功は、企業にて商品企画・生産・販売・広報・店舗開発・人事教育・海外支社に携わり、会社設立後は店舗運営、マーケティングコンサル、ショップチャンネルにて企画生産販売業務に携わった実績を踏まえ、実務者の観点から授業を行う。				
授業の目標および概要	<p>学生達が企画から生産までの企業の仕事の流れを経験することを目的とし、オリジナルブランドを企画し、ターゲットに向けて商品を企画・製作しポップアップストアを運営する。</p> <p>商品企画をする為にリサーチを行い、ターゲットの志向やトレンドを分析する。</p> <p>SNSでの効果的なPR方法を模索する。商品の原価と上代の設定方法を学ぶ。</p> <p>ポップアップストア運営の結果の分析と改善策の検討をする。</p>				
使用教材・教科書等	特になし				
成績評価方法	出席100%				
授 業 計 画					
<ol style="list-style-type: none"> 1. コンセプトワーク 2. コンセプト、ブランド名、商品構成の選定 3. ターゲットの設定、出店エリアの検討・決定 4. 出店エリアリサーチ・分析 5. デザイン出し、DMデザイン、下げ札、織ネーム検討 6. デザイン検討会、素材の検討 8. PR方法の検討、実行(SNS用の動画撮影、ルック撮影) 9. 商品製作 10. 商品検品、販売ロールプレイング 11. 販売実習 12. 結果の分析、総括 					

科目名	3DCAD II			
単位数	1単位 (30時間)		科目コード	2026FD研09
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式
学科(コース)・学年	ファッションデザイン研究科・ファッションテクニカル研究科			
担当教員名	中宏樹			
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である中宏樹は、企業にてパターンメイキングに3年以上携わった実績を踏まえ、パターンメイキングの実務者の観点から授業を行う。			
授業の目標および概要	CLOの基本操作の確認をはじめとして、レンダリング出力、モーション設定、生地物性測定など、幅広い技術を身に付ける。			
使用教材・教科書等	なし			
成績評価方法	課題100%			
授 業 計 画				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な操作の確認 2. アイテムの作成とデザイン変更 3. 各種ディテール表現 4. 生地物性測定 5. レンダリングとモーション 				

科目名	特別講義Ⅲ				
単位数	4単位（68時間）		科目コード	2026FD研10	
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式	講義
学科（コース）・学年	ファッションデザイン研究科・ファッションテクニカル研究科				
担当教員名	各回ゲスト講師				
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	-				
授業の目標および概要	<p>座学では現場で活躍する講師を迎え、ファッション業界の最新の動向を知るとともに、普通の授業だけでは学ぶことのできない幅広い知識を身につける。</p> <p>校外授業では、イベントを通して他クラス・他学年と交流を深める。また展示会・展覧会を見学することで感性を養うことを目的とする。</p>				
使用教材・教科書等	なし				
成績評価方法	出席率 100%				
授 業 計 画					
<p>《座学》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 卒業生講話 2. コレクション情報 3. マスコミ社会学 4. TRパターン 5. アイロン処理とパターン 6. デザイン発想 7. YKKファスニングアワード案内 <p>《校外授業》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 親睦会 2. 運動会 3. 美術展見学 4. 展示会见学 					

科目名	ゼミナール衣裳Ⅱ				
単位数	1単位（20時間）		科目コード	2026FD研11	
必・選の別	自由選択	開講時期	後期	授業の形式	講義
学科（コース）・学年	ファッションデザイン研究科・ファッションテクニカル研究科・ファッションデザイン科2年・ファッションテクニカル科2年				
担当教員名	横倉アユミ				
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である横倉アユミは、衣裳業務に携わっている実績を踏まえ、衣裳製作の実務者の観点から授業を行う。				
授業の目標および概要	衣裳についての講義を通して衣裳製作業務のリアルを学ぶ。				
使用教材・教科書等	なし				
成績評価方法	なし				
授 業 計 画					
1.既制服と衣裳の違いを解説 2.既制服から衣裳リメイク解説(ボトム編) 3.既制服から衣裳リメイク解説(トップス編) 4.プレゼンテーション					

科目名	服飾Ⅲ				
単位数	27単位（646時間）		科目コード	2026FT研01	
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式	講義、実習
学科（コース）・学年	ファッションテクニカル研究科				
担当教員名	中宏樹				
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である中宏樹は、企業にてパターンメイキングに3年以上携わった実績を踏まえ、パターンの実務者の観点から授業を行う。				
授業の目標および概要	<ul style="list-style-type: none"> ・平面と立体を理解し感性のある表現が出来る ・服の構造を理解した上で緻密なパターン作成、縫製が出来る ・服の構造に対する探求心を持つパタンナーと縫製士の育成を目指す 				
使用教材・教科書等	各素材別テキスト				
成績評価方法	課題100%(課題に定期試験も含む)				
授 業 計 画					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 就活用作品…講義、パターンメイキング、製作実習 2. 皮革作品…講義、部分縫い、パターンメイキング、製作実習 3. 薄物について…講義、部分縫い 4. 企画作品…製作実習 5. マイブランド作品…パターンメイキング、製作実習 6. リバーシブルについて…講義、部分縫い 7. レースについて…講義 8. フォーマル素材について…講義、部分縫い、パターンメイキング、製作実習 9. 部分縫い…皮革、薄物、ビスチェ、リバーシブル、レース、裏打ち、ベルベット 10. パターンメイキング…トルソー原型、ラグランスリーブ、きものスリーブ、ドルマンスリーブ、ジャケット2種 11. ドレーピング…ビスチェ、スカート、ワンピース、ジャケット2種 12. 定期試験2回(前期末、後期末) 					

科目名	CAD III			
単位数	3単位（76時間）		科目コード	2026FT研02
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式
学科（コース）・学年	ファッションテクニカル研究科			
担当教員名	中宏樹			
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である中宏樹は、企業にてパターンメイキングに3年以上携わった実績を踏まえ、パターン の実務者の観点から授業を行う。			
授業の目標および概要	<ul style="list-style-type: none"> ・基本操作を理解した上で製作な作業を行い、目的の作業をこなすためのツール選択が出来る。 ・理解を深め、技術向上を目指す ・Xiフォームマジックを活用した縫製仕様書の作成を学ぶ ・紙のパターンをスキャンしデータ化する方法を学ぶ 			
使用教材・教科書等	なし			
成績評価方法	課題100%			
授 業 計 画				
<ol style="list-style-type: none"> 1. トルソー原型のパターンメイキング 2. 企画作品…ベースパターンのパターンメイキング 3. スカートのパターンメイキング 4. ワンピースのパターンメイキング 5. 自由作品…パターンメイキング、仕様書作成 6. 仕様書作成 7. スキャナーの使い方、トレース方法 				

科目名	スタイル画Ⅲ				
時間数	1単位（30時間）			科目コード	2026FT研03
必・選の別	必修	開講時期	前期	授業の形式	実習
学科（コース）・学年	ファッションテクニカル研究科				
担当教員名	渡辺直樹				
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である渡辺直樹は、フリーランスとしてのファッションイラスト制作に30年以上携わった実績を踏まえ、ファッションイラストレーションの実務者の観点から授業を行う。				
授業の目標および概要	スタイル画の表現力向上。 観察に基づいた考察と、それを反復して描く事がとても大切である。描画量を増やすことで画力は向上する。就職活動に対応できる画力を得ることを目指す。				
使用教材・教科書等	iPad、B4画用紙など				
成績評価方法	課題100%				
授 業 計 画					
<ol style="list-style-type: none"> 1. ダーツ、ギャザー、タックに特化したデザイン 2. ○△□からのデザイン 3. 平絵：私物の上着 4. 平絵：トレンチコート 5. ウエディングドレス 					

科目名	マテリアルⅢ				
単位数	2単位（30時間）		科目コード	2026FT研04	
必・選の別	必修	開講時期	前期	授業の形式	講義
学科（コース）・学年	ファッションデザイン研究科・ファッションテクニカル研究科				
担当教員名	青木文子				
教員の実務経験の有無と該当教員のプロフィール	講師である青木文子は、マテリアル（化繊検査協会・西武百貨店・オールスタイル(株)等で企画・品質管理業務）に40年以上携わった実績を踏まえ、マテリアル全般（繊維製品品質管理士TES-一級衣料管理士TA）の実務者の観点から授業を行う。				
授業の目標および概要	<p>アパレル業界で活躍できる人材の育成。</p> <p>アパレルの製造・品質・流通・消費の流れを理解する。</p> <p>素材特性を理解しクレームを未然に防止する商品企画・品質管理の知識の習得。</p>				
使用教材・教科書等	アパレル素材論				
成績評価方法	課題60％ 授業態度40％				
授 業 計 画					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 着用衣類の組成表示・絵表示・注意表示の確認 2. 素材特性(天然繊維・化学繊維)解説 3. 家庭用品品質表示法 取り扱い絵表示の解説 <ul style="list-style-type: none"> 衣類の整理・保管 洗剤・仕上げ剤・漂白剤・防虫剤等の種類特性 家庭洗濯・商業洗濯の違いの説明 4. 衣類に関わる関連法規(家表法・景表法・薬事法等)・生地試験方法と評価の解説 5. 付属品(種類・製造方法)解説 <ul style="list-style-type: none"> 生地加工の解説(プリーツ・フロッキー・オパール・顔料プリント等) 6. 商業洗濯の解説と疑問点を探る(工場見学に向けて) 7. クリーニング工場見学及び質疑応答(見学中止の場合はスライド等講義) 8. アパレルクレーム事例解説 9. マテリアル講座総括 					

科目名	ブランディングプロデュース			
単位数	2単位（46時間）		科目コード	2026FT研05
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式
学科（コース）・学年	ファッションデザイン研究科・ファッションテクニカル研究科			
担当教員名	山田裕二			
教員の実務経験の有無と該当教員のプロフィール	講師である山田裕二は、(株)ユージヤマダデザインオフィスを設立し、国内、海外共に商品を展開し、更に様々なコラボブランドも展開している。 ブランド設立、会社経営の実務者の観点から授業を行う。			
授業の目標および概要	ブランド立ち上げる体験を目的とした内容が中心となる。専門知識も同時に理解してもらえる内容の授業を行う。 「ファッション、ブランディングとは」などを理解した上で実践に向かう事を基本として授業を行い、イベントの審査員までを監修する。			
使用教材・教科書等	タブレット、PC、スマートフォン等			
成績評価方法	プレゼンテーション課題を評価			
授 業 計 画				
<ol style="list-style-type: none"> 1. ブランド立ち上げる体験を目的とした内容が中心となる。+リサーチ方法（1コマ） 2. 知識も同時に理解してもらえる内容の授業を行う。（1コマ） 3. ファッション、ブランディングの基礎、ブランディングとは。+ラフデザイン画（1コマ） 4. ブランドコンセプトとシーズンテーマはについて。（1コマ） 5. ターゲット、ジャンル、ミューズを決めていく方法。+ラフデザイン画（1コマ） 6. 自分自身のブランドコンセプト、テーマ、商品構成、平均プライス構成（1コマ） 7. 商品企画、生産、小売を知る+リサーチ、ライバルブランドを探す。デザイン構成（2コマ） 8. アイテム最終決定、及び店頭での展開方法、販促（SNS）（EC）など。（1コマ） 9. VMD、プライスタグ、織りネームグラフィック、デザイン画チェック商品バランス。（1コマ） 10. デザイン画の中で作成する商品の確認、素材イメージのチェック修正点など（1コマ） 11. 現在の進行状態を全員で共有。軌道修正。進行状態のチェック（1コマ） 12. ブランドデザインのプレゼンテーション方法、プレゼン能力の向上（11コマ） 				

科目名	衣服解剖学			
単位数	2単位（30時間）		科目コード	2026FT研06
必・選の別	必修	開講時期	前期	授業の形式
学科（コース）・学年	ファッションデザイン研究科・ファッションテクニカル研究科			
担当教員名	築田菜穂子			
教員の実務経験の有無と該当教員のプロフィール	講師である築田菜穂子は、(株)デサント、(株)フェニックス、(株)ジュンにて、パターン、デザイン業務に20年以上携わった実績を踏まえ、スポーツウエア、機能ウエア制作の実務者の観点から授業を行う。			
授業の目標および概要	衣服を制作する為の人体の見方、生かし方を具体的に解説していく。 それにより、機能ウエアに必要なデザインとパターンのポイントを把握出来るようにする。			
使用教材・教科書等	衣服解剖学			
成績評価方法	課題70%/出席30%			
授 業 計 画				
<p>人体のすがた・かたち、しかけ・しくみを機能ウエアに生かしていく。</p> <p>前半は上半身、後半は下半身の人体と機能ウエアについてを解説し、ブルゾンとパンツをシーチングで作成。ウエアの機能を検証をする。</p> <p>最後に上下がつながったウエアの解説でまとめる。</p>				

科目名	企業コラボⅡ			
単位数	1単位（16時間）		科目コード	2026FT研07
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式
学科（コース）・学年	ファッションデザイン研究科・ファッションテクニカル研究科			
担当教員名	千々和年功			
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である千々和年功は、企業にて商品企画・生産・販売・広報・店舗開発・人事教育・海外支社に携わり、会社設立後は店舗運営、マーケティングコンサル、ショップチャンネルにて企画生産販売業務に携わった実績を踏まえ、実務者の観点から授業を行う。			
授業の目標および概要	学生達が企画から生産までの企業の仕事の流れを経験することを目的とし、オリジナルブランドを企画し、ターゲットに向けて商品を企画・製作しポップアップストアを運営する。商品企画をする為にリサーチを行い、ターゲットの志向やトレンドを分析する。 SNSでの効果的なPR方法を模索する。商品の原価と上代の設定方法を学ぶ。 ポップアップストア運営の結果の分析と改善策の検討をする。			
使用教材・教科書等	特になし			
成績評価方法	出席100%			
授業計画				
<ol style="list-style-type: none"> 1. コンセプトワーク 2. コンセプト、ブランド名、商品構成の選定 3. ターゲットの設定、出店エリアの検討・決定 4. 出店エリアリサーチ・分析 5. デザイン出し、DMデザイン、下げ札、織ネーム検討 6. デザイン検討会、素材の検討 8. PR方法の検討、実行(SNS用の動画撮影、ルック撮影) 9. 商品製作 10. 商品検品、販売ロールプレイング 11. 販売実習 12. 結果の分析、総括 				

科目名	3DCAD II			
単位数	1単位（30時間）		科目コード	2026FT研08
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式
学科（コース）・学年	ファッションデザイン研究科・ファッションテクニカル研究科			
担当教員名	中宏樹			
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である中宏樹は、企業にてパターンメイキングに3年以上携わった実績を踏まえ、パターンメイキングの実務者の観点から授業を行う。			
授業の目標および概要	CLOの基本操作の確認をはじめとして、レンダリング出力、モーション設定、生地物性測定など、幅広い技術を身に付ける。			
使用教材・教科書等	なし			
成績評価方法	課題100%			
授 業 計 画				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な操作の確認 2. アイテムの作成とデザイン変更 3. 各種ディテール表現 4. 生地物性測定 5. レンダリングとモーション 				

科目名	特別講義Ⅲ				
単位数	4単位（68時間）		科目コード	2026FT研09	
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式	講義
学科（コース）・学年	ファッションデザイン研究科・ファッションテクニカル研究科				
担当教員名	各回ゲスト講師				
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	-				
授業の目標および概要	<p>座学では現場で活躍する講師を迎え、ファッション業界の最新の動向を知るとともに、普通の授業だけでは学ぶことのできない幅広い知識を身につける。</p> <p>校外授業では、イベントを通して他クラス・他学年と交流を深める。また展示会・展覧会を見学することで感性を養うことを目的とする。</p>				
使用教材・教科書等	なし				
成績評価方法	出席率 100%				
授 業 計 画					
<p>《座学》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 卒業生講話 2. コレクション情報 3. マスコミ社会学 4. TRパターン 5. アイロン処理とパターン 6. デザイン発想 7. YKKファスニングアワード案内 <p>《校外授業》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 親睦会 2. 運動会 3. 美術展見学 4. 展示会见学 					

科目名	ゼミナール衣裳Ⅱ				
単位数	1単位（20時間）			科目コード	2026FT研10
必・選の別	自由選択	開講時期	後期	授業の形式	講義
学科（コース）・学年	ファッションデザイン研究科・ファッションテクニカル研究科				
担当教員名	横倉アユミ				
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である横倉アユミは、衣装業務に携わっている実績を踏まえ、衣装製作の実務者の観点から授業を行う。				
授業の目標および概要	衣装についての講義を通して衣装製作業務のリアルを学ぶ。				
使用教材・教科書等	なし				
成績評価方法	なし				
授 業 計 画					
1.既制服と衣装の違いを解説 2.既制服から衣装リメイク解説(ボトム編) 3.既制服から衣装リメイク解説(トップス編) 4.プレゼンテーション					

科目名	服飾造形 I			
単位数	8単位 (240時間)		科目コード	2026ST101
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式
学科(コース)・学年	スタイリスト科1年・ファッションビジネス科1年			
担当教員名	鹿島夢奈			
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である鹿島夢奈は、企業にて婦人服企画職を経て、衣装製作の業務を個人事業主として7年間の実績を積む。そこではデザイン、パターン製作、縫製業務、スタイリスト業務と一気通貫で行ってきた。ファッション商品の製作実務者の観点から授業を行う。			
授業の目標および概要	<p>◎アパレル業界の仕事及び、それに関わる洋服の知識を得る。 ※洋服の知識：サイズ、アイテム名、ディテール、素材等</p> <p>◎服飾造形：スカート・パンツ・シャツの制作を通して以下のことを学ぶ。</p> <p>①パターンとは ②デザインと生地との相性と取扱いについて ③ディテール・デザインの理解 ④コーディネート力 ⑤デザインバランス検討する力 ⑥専門用語の理解</p>			
使用教材・教科書等	オリジナルテキスト・書き込み式資料 スカート、パンツ、シャツの基本パターンを配布※配布パターンについては、サイズとデザインを選択			
成績評価方法	課題点・後期試験・出席率の平均(小数点以下第一四捨五入)			
授 業 計 画				
<p>1. 服飾造形の基礎概説・用具の扱いについて 基礎縫い：手縫い・ミシン縫い・ロックミシン縫い スナップ・ボタン・鍵ホック付け含む</p> <p>2. 服飾造形の知識デザインの適宜と特性、ファッション商品知識 専門用語解説</p> <p>3. スカート講義・市場調査・実物製作・コーディネート提案</p> <p>4. パンツ講義・市場調査・実物製作・コーディネート提案</p> <p>5. シャツ・ブラウス講義・市場調査・実物製作・コーディネート提案</p>				

科目名	コーディネートⅠ				
単位数	1単位（50時間）			科目コード	2026ST102
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式	講義・実習
学科（コース）・学年	スタイリスト科1年				
担当教員名	三宅康代				
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である三宅康代は、企業にてデザイナー・チーフデザイナー、マーチャンダイザーに従事、(有)ジオ設立代表取締役を務めた実績を踏まえ、実務者の観点から授業を行う。				
授業の目標および概要	1) コーディネートの基礎知識の習得 2) 楽しみながらコーディネート能力を身に付ける 3) BODYと衣装、小物で実践のコーディネート訓練 4) プレゼンテーション能力を身に付ける 5) お洒落に前向きに取り組むセンスUP 6) コーディネート提案する演者さん・お客様にお似合いになる色・素材・フォルム・テイストを診断する力を身につける				
使用教材・教科書等	ipad・教科書・ノート・筆記用具・ファッション誌・A4ケント紙・A4ファイル MAP制作用具（はさみ・のり・カッター・定規・カッターボード・カラーペン・色鉛筆等）・カラーチップ・USB				
成績評価方法	課題&プレゼンテーション（100%）				
授 業 計 画					
1. カラー解説～MAP制作～プレゼンテーション 2. 商品イメージ“テイスト8分類”解説～マーケットリサーチ～MAP制作～置き撮りCD実践～プレゼンテーション 3. ライフスタイルオケージョン解説～MAP制作～置き撮りCD実践～プレゼンテーション 4. F・アドバイザーとして必要な知識 ①パーソナルカラードレーピング ②骨格診断 ③顔診断 ⇒MAP制作～プレゼンテーション					

科目名	ヘアメイクⅠ				
単位数	3単位（100時間）			科目コード	2026ST103
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式	実習
学科（コース）・学年	ｽﾀｲﾘｽﾄ科1年				
担当教員名	関根教史				
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である関根教史は、ヘアメイク、サロンワークに20年以上携わった実績を踏まえ、フリーランスヘアメイクの実務者の観点から授業を行う。				
授業の目標および概要	ヘア：1. 基礎工程を学ぶ 2. アレンジ方法を学ぶ メイク：1. フェイスプロポーションの習得 2. アートメイクの描き方を学ぶ 3. イメージメイクを学ぶ				
使用教材・教科書等	メイク道具、ヘア道具、色鉛筆、筆記用具				
成績評価方法	試験80%、課題20%				
授 業 計 画					
ヘア：1. 基礎工程を学ぶ 2. アレンジ方法を学ぶ （コーム、ブラシ、ピン類、ゴム等の使用方法を学ぶ） メイク：1. フェイスプロポーションの習得 2. アートメイクの描き方を学ぶ 3. イメージメイクを学ぶ					

科目名	カラー I				
単位数	3単位 (50時間)			科目コード	2026ST104
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式	講義・実習
学科(コース)・学年	スタイリスト科1年・ファッションビジネス科1年				
担当教員名	原田弘美				
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール					
授業の目標および概要	色の三属性やトーンシステムなどの色彩の体系と、色の見え方や色彩心理などの色彩基礎、ファッション産業における色彩理論、さらに、調和のとれた基本の配色方法を学びます。 「ファッション色彩能力検定3級」の取得を目指し、将来的に色彩の知識(資格)を活かすことを目標とします。				
使用教材・教科書等	教科書「ファッション色彩 [1]」「ファッション色彩3ーファッション能力検定試験3級公式問題集ー」、ベーシックカラー140、カッター、カッター定規、のり、ノート、筆記具				
成績評価方法	試験90%、出席率10%				
授 業 計 画					
1. 色彩について・・・検定について カラーチャート作成 2. 色彩の体系・・・色の三属性、ヒュー&トーン 3. 色彩理論ー基礎・・・光と色、三原色と混色 視覚と色、色彩と心理、色彩の感情効果 4. 色彩の技術・・・配色の基礎 色相を基準にした配色、トーンを基準にした配色 色彩構成の基礎 5. ファッション産業と色彩・・・色彩の役割、企画、生産、流通段階の色彩 6. 色名・・・色名について 7. 検定試験対策・・・復習、総合模擬試験、まとめ					

科目名	スタイリング I				
単位数	2単位 (60時間)			科目コード	2026ST105
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式	講義・実習
学科(コース)・学年	スタイリスト科1年・ファッションビジネス科1年				
担当教員名	山田涼雅				
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である山田涼雅は、アパレルブランドにて販売員、副店長を担当しSNSマーケティングやEC管理、バイヤーを行う。アパレルブランドも展開しており得た実績を踏まえ実務者の観点から授業を行う。				
授業の目標および概要	<p>【目標】 基礎から実践までスタイリングスキルを身につけ、自分のスタイルを確立し、様々な媒体パターンに添って提案力を鍛える。 最終目標として、AIを駆使しスタイリングを考える人材を目指します。</p>				
使用教材・教科書等	スマートフォン、iPad、アップルペンシル、Maison AI				
成績評価方法	課題100%				
授 業 計 画					
<p>【1回目】 オリエンテーション 【2.3.4.5回目】 基本的なスタイリング例を各媒体からピックアップし解説 【5.6.7.8.9.10.11.12.13回目】 スタイリストをピックアップし解説(3人) そのスタイリストになったつもりで、テーマに合わせてスタイリングを考える 【16.17.18.19.20回目】 Maison AI導入、人物を設定し、特徴を捉え企画を考える 【21.22.23.24回目】 チームを組み作品撮り。テーマやシーズンをAIで企画を考えて行う。 【25.26.27.28.29.30回目】 (ここから分岐) ファッションビジネス科 →媒体、人物を設定し、特徴を捉えシーズン企画を考える。AIで企画MAPを制作。 スタイリスト科 →MINI企画連動。企画案をAIも用い考えていく。</p>					

科目名	マテリアルⅠ			
単位数	2単位（30時間）		科目コード	2026ST106
必・選の別	必修	開講時期	後期	授業の形式
学科（コース）・学年	スタイリスト科1年・ファッションビジネス科1年			
担当教員名	親松俊介			
教員の実務経験の有無と該当教員のプロフィール	講師である親松俊介は、企業にてパターン作成、生産管理、裁断、品質管理業務に従事した実績を踏まえ、実務者の観点から授業を行う。			
授業の目標および概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ アパレルでの仕事に必要な素材に関する基礎知識を習得する ・ 第1章「アパレルと素材」 ・ 第2章「繊維」（3.天然繊維まで） ・ 第3章「糸」（5.糸の構造まで） ※試験については授業の進度に合わせて5回実施する。5回分で100点とし、成績評価する。			
使用教材・教科書等	・ 教科書「アパレル素材論」・デジタル配布物・筆記具			
成績評価方法	試験結果と出席率の平均			
授 業 計 画				
1.アパレル素材の世界 アパレル素材について ファッション製品と素材(1) 2.アパレルと素材 アパレル用繊維に求められる要件など(1) 3.天然繊維 綿 麻 ウール(羊毛) 獣毛 絹(11) 4.糸について 糸とは 糸の種類 糸の太さ (2)				

科目名	ディスプレイI				
単位数	1単位（30時間）			科目コード	2026ST107
必・選の別	必修	開講時期	前期	授業の形式	講義・実習
学科（コース）・学年	スタイリスト科1年・ファッションビジネス科1年				
担当教員名	萩原充子				
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である萩原充子は、フリーランスとしてディスプレイとVMD業務に25年以上携わった実績を踏まえ、ディスプレイの実務者の観点から授業を行う。				
授業の目標および概要	ディスプレイの基本知識とテクニックの習得。 グループワークでの実習を行いコミュニケーション力の向上。 最終で企画～準備～実践を通して計画性を養う。				
使用教材・教科書等	教科書 文化ファッション大系『ディスプレイ・VP・VMD』 ipad（またはスマホ）ハサミ・カッター等				
成績評価方法	課題50%、出席50%				
授 業 計 画					
<p>1. 基本知識の習得（講義）</p> <p>…ディスプレイとは、売場における考え方、役割、用語、道具、テクニックの名称</p> <p>2. 基本テクニックの習得（実習）</p> <p>実習で体験することでテクニックを理解する</p> <p>…空間構成</p> <p>…洋服、雑貨の扱い方</p> <p>…マネキンとボディに着せ付け</p> <p>…ラッピング</p> <p>3. ショーウィンドーリサーチ（実習）</p> <p>ショーウィンドーを見学しディスプレイ視点を養う。</p> <p>…校外学習 街中のWDリサーチ レポート作成</p> <p>4. ディスプレイ実践（講義/実習）</p> <p>企画～準備～実践をして考え方、流れを習得する</p> <p>…5W1H</p> <p>…計画書、イメージコラージュ作成</p> <p>…机上ディスプレイ実践</p> <p>…レポート作成</p>					

科目名	英会話Ⅰ				
単位数	3単位（50時間）			科目コード	2026ST108
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式	講義
学科（コース）・学年	スタイリスト科1年・ファッションビジネス科1年				
担当教員名	渡辺聡彦				
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である渡辺聡彦は、英会話スクール経営。各種学校、英会話専門塾、官公庁や各種企業からの依頼・オーダーに合わせ、文法、英会話をはじめ、英検・TOEIC・TOEFLなどの試験対策を行い、10年以上に渡り、1,000人以上の日本人・外国人に英語指導。				
授業の目標および概要	出来るだけ楽しく英語を学び、日常生活等、身近で簡単な事から英語で使えるようにし、英語での接客・対応が出来るように学ぶ。ファッション関連用語や有名ブランドの英語発音を知り、発音出来る様にする。				
使用教材・教科書等	新しい接客本 と渡辺製作のオリジナル教材（iphoneかipad、又はスクリーン使用）				
成績評価方法	出席80%、課題20%				
授 業 計 画					
<ol style="list-style-type: none"> 1. ファッションに関する単語、ブランドの発音を知り発音できるようにする。 2. 日常生活で使えるような簡単な単語、フレーズから学び、使えるようにしていく。 3. 間違いを恐れず、英語を話す、使う、考える習慣をつける様な環境作りの推進。 4. 英語での接客・対応が出来るように学ぶ。 5. 高校までに習った文法を学び直す。 					

科目名	FB概論Ⅰ				
単位数	4単位（60時間）		科目コード	2026ST109	
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式	講義・実習
学科（コース）・学年	スタイリスト科1年・ファッションビジネス科1年				
担当教員名	森田豊樹				
教員の実務経験の有無と当該教員のプロフィール	講師である森田豊樹は、アパレルメーカー、(株)バツにおいて、営業職、生産管理職、MD（ブランドリーダー）職、経営計画室において9年以上携わった実績を踏まえ、MD（ブランド責任者）及び経営計画責任者の実務者の観点から授業を行う。				
授業の目標および概要	ファッションビジネス能力検定3級合格 アパレル業界の仕組み・流れの把握				
使用教材・教科書等	教科書、筆記用具				
成績評価方法	試験・出席率の合計平均				
授 業 計 画					
<p>■第1章ファッションビジネスの概要</p> <p>1.ファッションビジネスの定義と特性/2.繊維ファッション産業の流れ</p> <p>■第2章ファッション消費と消費者行動</p> <p>1.消費者行動とファッション表現/2.ライフスタイルとファッション/3.お客様の購買行動</p> <p>■第3章アパレル産業と小売産業</p> <p>1.アパレル産業の概要/2.ファッション小売業の概要</p> <p>■第4章ファッションマーケティング</p> <p>1.マーケティングの基礎知識/2.マーケティング上の分類方法/3.市場調査の基礎知識</p> <p>■第5章ファッションマーチャンダイジング</p> <p>1.マーチャンダイジングの基礎知識/2.商品企画・生産・販売の流れ/3.売場商品構成の基礎知識</p> <p>■第6章ファッション流通</p> <p>1.流通/2.ファッション小売業の仕組みと業務</p> <p>■第7章ビジネス基礎知識</p> <p>1.会社に関する基礎知識/2.企業の組織/3.企業会計/4.計数知識</p> <p>■FB検定過去問・傾向・対策</p> <p>■市場調査～班ワーク～プレゼン</p> <p>■試験対策・解説・総括</p>					

科目名	西洋服装史			
単位数	2単位（30時間）		科目コード	2026ST110
必・選の別	必修	開講時期	前期	授業の形式
学科（コース）・学年	スタイリスト科1年・ファッションビジネス科1年			
担当教員名	原田弘美			
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	-			
授業の目標および概要	衣服の起源と古代から現代までの西洋服飾の変遷を、映像を使用しながら解説します。文化、芸術、宗教など様々な歴史との関連を持つ装いを理解し、過去の装いが現代のファッションやデザイナーに影響を与えていることを踏まえつつ、興味と知識を深め、新たなデザイン発想やスタイリングに活かせることを目標とします。			
使用教材・教科書等	文化ファッション大系「西洋服装史」、タブレットノート、ペン			
成績評価方法	試験90% 出席率10%			
授 業 計 画				
1. 衣服の起源・・・・・・・・衣服の起源と役割 2. 古代の服飾・・・・・・・・古代エジプト、古代ギリシャ、古代ローマの服飾 3. 中世の服飾・・・・・・・・ビザンチン、ロマネスク、ゴシックの服飾 4. 近世の服飾・・・・・・・・ルネサンス、バロック、ロココの服飾 5. 近代の服飾・・・・・・・・第一帝政時代、第二帝政時代、第三共和制時代の服飾 19世紀末期の服飾、スポーツウエア、19世紀男性スタイル 6. 現代の服飾・・・・・・・・ファッション産業の基盤 20世紀初頭の服飾 1920年代～1950年代のファッション 1960年代～2000年代のファッション				

科目名	ブランド研究				
単位数	2単位（60時間）			科目コード	2026ST111
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式	講義・実習
学科（コース）・学年	スタイリスト科1年				
担当教員名	山田涼雅				
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である山田涼雅は、アパレルブランドにて販売員、副店長を担当しSNSマーケティングやEC管理、バイヤーを行う。アパレルブランドも展開しており得た実績を踏まえ実務者の観点から授業を行う。				
授業の目標および概要	<p>【目標】 基礎から実践までスタイリングスキルを身につけ、自分のスタイルを確立し、様々な媒体パターンに添って提案力を鍛える。 最終目標として、AIを駆使しスタイリングを考える人材を目指します。</p>				
使用教材・教科書等	スマートフォン、iPad、アップルペンシル、Maison AI				
成績評価方法	課題100%				
授 業 計 画					
<p>【1回目】 オリエンテーション 【2.3.4.5.6.7.8.9.10回目】 ファッションブランド解説 【11.12.13.14.15回目】 個々の感性や好きなファッションテイストをMAPで3つ表現、プレゼン 【16.17.18.19.20回目】 Maison AI導入、各年代のファッションの特徴と自分らしさをミックスさせてプレゼン 【21.22.23.24回目】 アートからの発想。外出し展覧会をハシゴ。その中からインスピレーションを反映。 【25.26.27.28回目】 音楽からの発想。各音楽ジャンルと自分らしさをミックス。</p>					

科目名	ネイル I				
単位数	1単位 (30時間)			科目コード	2026ST113
必・選の別	必修	開講時期	後期	授業の形式	実習
学科 (コース) ・学年	ｽﾀｲｽﾄ科1年				
担当教員名	澤山佳江				
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である澤山佳江は、ネイリスト業務に17年以上携わった実績を踏まえ、ネイル業務の実務者の観点から授業を行う。				
授業の目標および概要	2年生になった際の授業内容の基礎編。爪の整え方やポリッシュの塗り方など基礎編としてジェル以外の自分の手や足のお手入れ方法などを学ぶ。				
使用教材・教科書等	ネイル商材一式、筆記用具、スマートフォン				
成績評価方法	授業への取り組み方				
授 業 計 画					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 自己紹介、商材の説明、ケアやり方、実践 2. ネイルケアの実践、ポリッシュカラーの実践 3. 相モデルでのケアカラー実践 4. ポリッシュアート実践 5. ポリッシュアート実践 					

科目名	オフィスPC				
単位数	2単位（60時間）			科目コード	2026ST112
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式	実習
学科（コース）・学年	スタイリスト科1年・ファッションビジネス科1年				
担当教員名	今井利匡				
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である高橋晶恵は、企業にて婦人服デザイナー・パタンナー等業務に従事。 講師である今井利匡は、企業のインハウスデザイナー及びフリーランスとしてグラフィックデザイン業務に従事。				
授業の目標および概要	マイクロソフト社が出しているOffice2019からWord、Excel、PowerPointを使用したPC基礎を学ぶ。特にExcelに関しては、その機能を知り、実習課題を通して実際の現場で使用できるよう練習する。アパレル専門用語の習得も兼ねる。 グラフィックの基礎を学ぶために使用するソフトは、Illustrator・Photoshopである。 課題としては、ポストカードを作成する。				
使用教材・教科書等	オリジナルテキスト				
成績評価方法	提出物、出席率、グラフィック試験点の平均値を点数化する				
授 業 計 画					
<ol style="list-style-type: none"> 1. PCの基本操作、データの処理および管理方法について 2. Word書式の設定、文字入れ 3. Excel基礎・Excelの機能について：画面構成 セルについて、データの記入 表の作成、行と列 4. Excel応用データベースについて：売上表作成 関数について：数式の入力、相対参照と絶対参照他 5. PowerPointプレゼンテーション資料の作り方 ipadの活用のためにkeynoteの使い方を学ぶ 6. Illustrator-Photoshop グラフィックデータの基礎知識 7. Illustrator Illustratorの基礎操作を学ぶ 8. Photoshop Photoshopの基礎操作を学ぶ 					

科目名	FB論 I				
単位数	2単位 (30時間)			科目コード	2026ST114
必・選の別	必修	開講時期	前期	授業の形式	講義
学科 (コース) ・学年	スタイリスト科1年・ファッションビジネス科1年				
担当教員名	鹿島夢奈				
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である鹿島夢奈は、企業にて婦人服企画職を経て、衣装製作の業務を個人事業主として7年間の実績を積む。そこではデザイン、パターン製作、縫製業務、スタイリスト業務と一貫通貫で行ってきた。ファッション商品の製作実務者の観点から授業を行う。				
授業の目標および概要	◎ファッションビジネス能力検定の3級合格を目標とする。 アパレル業界の仕事及び、それに関わる洋服の知識を得る。				
使用教材・教科書等	ファッションビジネス能力検定3級テキスト、オリジナル書き込み用資料 模擬試験				
成績評価方法	出席率・試験の平均点 (小数点以下第一四捨五入)				
授 業 計 画					
1. 検定試験対策ファッションビジネス能力検定試験3級 ファッション造形知識の試験対策 2. 検定試験の為に模擬試験を行う					

科目名	特別講義Ⅰ				
単位数	1単位（20時間）			科目コード	2026ST115
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式	講義
学科（コース）・学年	スタイリスト科1年				
担当教員名	山田涼雅・各回ゲスト講師				
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	-				
授業の目標および概要	現場で活躍する講師を迎え、ファッション業界の最新の動向を知るとともに、普段の授業だけでは学ぶことのできない幅広い知識を身につける。 また、就職活動に向けての早期に動き出す行動力をつける。				
使用教材・教科書等	特になし				
成績評価方法	授業への出席（100%）				
授 業 計 画					
1. 就職講座 就職に向けての心構えを始めとし、具体的な進め方、履歴書の書き方やエントリーシートについて学ぶ 2. パーソナルファイナンス 就職後に必要なお金の知識を身につける 3. 選挙講座 政治を自分事としてとらえ、有権者として求められる力を身につける 4. スタイリストの話					

科目名	服飾造形 II			
単位数	8単位 (240時間)		科目コード	2026ST201
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式
学科(コース)・学年	スタイリスト科2年・ファッションビジネス科2年			
担当教員名	親松俊介			
教員の実務経験の有無と該当教員のプロフィール	講師である親松俊介は、企業にてパターン作成、生産管理、裁断、品質管理業務に従事した実績を踏まえ、実務者の観点から授業を行う。			
授業の目標および概要	◎1年次の基礎知識をベースに、アパレル製品・アパレル素材の基礎知識を広げる。扱う素材は主にニット素材とウール。◎講義と、Tシャツ・カットソー・コートの制作を通して以下のことを学ぶ。①デザインに応じた素材選択・パターン展開・サイズ展開②簡単な構成の商品(Tシャツ)のパターンコピーとアレンジ③素材に応じたソーイング資材、ソーイング機器の取り扱い方④伸縮素材の取り扱い方⑤ウール素材の取り扱い方			
使用教材・教科書等	教科書「アパレル素材論」・デジタル資料・洋裁道具・筆記具			
成績評価方法	課題と試験結果の平均			
授 業 計 画				
<p>1.服飾造形の基礎知識 ニット素材について ニットの性質(30)</p> <p> カットソーの縫製について 代表的なニット素材について</p> <p> コートについて デザインが特徴的なコート</p> <p> ウール素材の梳毛・紡毛について コートに適した素材</p> <p> 裏地の機能 芯地の機能</p> <p>2.Tシャツ 講義・ラブオフ・マーキング・実物製作(25)</p> <p>3.カットソー(応用デザイン) 講義・市場調査・パターン作成・マーキング・実物製作(25)</p> <p>4.コート 講義・市場調査・パターン作成・マーキング・実物製作(40)</p>				

科目名	コーディネートⅡ				
単位数	3単位（90時間）			科目コード	2026ST202
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式	実習
学科（コース）・学年	スタイリスト科2年				
担当教員名	三宅康代				
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である三宅康代は、企業にてデザイナー・チーフデザイナー、マーチャンダイザーに従事、(有)ジオ設立代表取締役役に携わった実績を踏まえ、実務者の観点から授業を行う。				
授業の目標および概要	★スタイリストの模擬体験 ①雑誌				
使用教材・教科書等	ipad・教科書・ノート・筆記用具・ファッション誌・A4ケント紙・A4ファイル MAP制作用具（はさみ・のり・カッター・定規・カッターボード・カラーペン・色鉛筆等）・カラーチップ・USB				
成績評価方法	実習課題&プレゼンテーション（100%）				
授 業 計 画					
<p>1. スタイリストの仕事解説</p> <p>2. Fashion雑誌“MY ORIGINAL MAGAZINE”作成</p> <p>☆イメージ雑誌の分析→企画書作成→イメージMAP作成→絵コンテ作成</p> <p>☆モデル・アシスタント決め→アパレルリース→下げ札作成→</p> <p>ロケハンリサーチ→コーディネート準備（下げ札→値書き・アイロン・靴の底貼り）→香盤表</p> <p>撮影→返却→原稿&パワーポイント作成→読み練習→プレゼンテーション</p>					

科目名	スタイリングアート（卒業制作）			
単位数	2単位（60時間）		科目コード	2026ST203
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式
学科（コース）・学年	スタイリスト科2年			
担当教員名	親松俊介			
教員の実務経験の有無と該当教員のプロフィール	講師である親松俊介は、企業にてパターン作成、生産管理、裁断、品質管理業務に従事した実績を踏まえ、実務者の観点から授業を行う。			
授業の目標および概要	スタイリスト科2年間の学びの集大成として、テーマに基づいて各自コンセプトを設定、衣装を用意、世界感を演出して撮影し、パネルに仕立てる。コンセプトに合った衣装、アクセサリ、ヘアメイク&メイクアップ、ネイルをトータルコーディネートする。撮影した画像をPC作業で体裁、バランスを考えパネルに仕上げる。そのプロセスをプレゼン発表する。			
使用教材・教科書等	iPad ノート			
成績評価方法	企画内容・発表内容と出席率を考慮する			
授 業 計 画				
<p>1.卒業制作について（8）</p> <p>2.企画の立て方 コンセプトの設定 表現したいこと（12）</p> <p>3.制作（40）</p> <p>衣装（メインアイテムとコーディネートアイテム）・アクセサリ・ヘア&メイクアップ、ネイルアート制作</p> <p>撮影準備・撮影実習</p> <p>オリジナルロゴ・キャッチコピー制作</p> <p>PCによるポスター編集</p> <p>プレゼン資料製作（キーノート）</p>				

科目名	ヘアメイクII				
単位数	2単位（80時間）			科目コード	2026ST204
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式	実習
学科（コース）・学年	スタイリスト科2年				
担当教員名	関根教史				
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である関根教史は、ヘアメイク、サロンワークに20年以上携わった実績を踏まえ、フリーランスヘアメイクの実務者の観点から授業を行う。				
授業の目標および概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 応用技術を学ぶ 2. 思い描く作品作成 3. トータルで作成 				
使用教材・教科書等	メイク道具、ヘア道具、色鉛筆、筆記用具				
成績評価方法	試験80%、課題20%				
授 業 計 画					
<p>『ヘアメイク応用技術を学ぶ』</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 思い描く作品作成：デッサンイメージ、トレンドを形にする（ヘアメイク） 2. トータルで作成：色、形、位置、背景、流行、組み合わせ、バランスを学ぶ（ヘアメイク） 					

科目名	スタイリングII				
単位数	2単位（60時間）			科目コード	2026ST205
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式	講義・実習
学科（コース）・学年	スタイリスト科2年・ファッションビジネス科2年				
担当教員名	山田涼雅				
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である山田涼雅は、アパレルブランドにて販売員、副店長を担当しSNSマーケティングやEC管理、バイヤーを行う。アパレルブランドも展開しており得た実績を踏まえ実務者の観点から授業を行う。				
授業の目標および概要	<p>【目標】 基礎から実践までスタイリングスキルを身につけ、自分のスタイルを確立し、様々な媒体パターンに添って提案力を鍛える。 最終目標として、AIを駆使しスタイリングを考える人材を目指します。</p>				
使用教材・教科書等	スマートフォン、iPad、アップルペンシル、Maison AI				
成績評価方法	課題100%				
授 業 計 画					
<p>【1回目】オリエンテーション 【2.3回目】AIの基本理解とスタイリングアプローチ 【4.5回目】AIを使用したスタイリング案の生成 【6.7回目】テーマ別スタイリングセッション 【8.9.10.11回目】AI企画から撮影実習 【12回目】撮影結果に基づく分析 【13.14.15.16回目】クライアントシュミレーション 【17.18.19.20.21回目】第1回目 ポートフォリオ制作 【22回目】作品の発表と振り返り 【23.24.25.26.27.28回目】第2回目 ポートフォリオ制作 【29.30回目】作品の発表と振り返り・まとめ</p>					

科目名	マテリアルⅡ			
単位数	2単位（30時間）		科目コード	2026ST206
必・選の別	必修	開講時期	前期	授業の形式
学科（コース）・学年	スタイリスト科2年・ファッションビジネス科2年			
担当教員名	親松俊介			
教員の実務経験の有無と該当教員のプロフィール	講師である親松俊介は、企業にてパターン作成、生産管理、裁断、品質管理業務に従事した実績を踏まえ、実務者の観点から授業を行う。			
授業の目標および概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ アパレルでの仕事に必要な素材に関する知識を習得する ・ 第2章「繊維」 4.化学繊維 ・ 第3章「糸」 6.その他の糸 ・ 第4章「布地」 ・ 第6章「その他のアパレル素材」 ※試験については授業の進度に合わせて5回実施する。5回分で100点とし、成績評価する。			
使用教材・教科書等	・教科書「アパレル素材論」・デジタル配布物・筆記具			
成績評価方法	試験結果と出席率の平均			
授 業 計 画				
1.化学繊維 ポリエステル アクリル ナイロン ポリウレタン PVC レーヨン キュプラ アセテート トリアセテート 2.糸について その他の糸 加工糸、複合糸など 3.布地について 布地の種類と表示の規格 4.織物について 織物の3原組織 平織り 斜文織り 縞子織り 5.その他のアパレル素材 レザー&ファー				

科目名	英会話 II				
単位数	3単位 (50時間)			科目コード	2026ST207
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式	講義
学科(コース)・学年	ｽﾀｲﾘｽﾄ科2年				
担当教員名	渡辺聡彦				
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である渡辺聡彦は、英会話スクール経営。各種学校、英会話専門塾、官公庁や各種企業からの依頼・オーダーに合わせ、文法、英会話をはじめ、英検・TOEIC・TOEFLなどの試験対策を行い、10年以上に渡り、1,000人以上の日本人・外国人に英語指導。				
授業の目標および概要	出来るだけ楽しく英語を学び、日常生活等、身近で簡単な事から英語で使えるようにし、英語での接客・対応が出来るように学ぶ。ファッション関連用語や有名ブランドの英語発音を知り、発音出来る様にする。				
使用教材・教科書等	「すぐに使える接客英会話 大特訓」と渡辺が作るオリジナル教材 (iphoneかipad、又はスクリーン使用)				
成績評価方法	出席80%、課題20%				
授 業 計 画					
<ol style="list-style-type: none"> 1. ファッションに関する単語、ブランドの発音を知り発音できるようにする。 2. 日常生活で使えるような簡単な単語、フレーズから学び、使えるようにしていく。 3. 間違いを恐れず、英語を話す、使う、考える習慣をつける様な環境作りの推進。 4. 英語での接客・対応が出来るように学ぶ。 5. TOEICとは何かを学び、今後受けるための対策をする。 					

科目名	FB概論Ⅱ				
単位数	4単位（60時間）		科目コード	2026ST208	
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式	講義・実習
学科（コース）・学年	スタイリスト科2年・ファッションビジネス科2年				
担当教員名	森田豊樹				
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である森田豊樹は、アパレルメーカー、(株)バツにおいて、営業職、生産管理職、MD（ブランドリーダー）職、経営計画室において9年以上携わった実績を踏まえ、MD（ブランド責任者）及び経営計画責任者の実務者の観点から授業を行う。				
授業の目標および概要	ファッションビジネス業会の概要理解を踏まえ、アパレルメーカーに属する専門職種の仕事内容の理解、求められる人材像を知りそこへ近づくためのスキルを知る。計数管理応用を習得する。				
使用教材・教科書等	筆記用具、礼物のノート、iPad				
成績評価方法	試験・出席率の合計平均				
授 業 計 画					
<p>オリエンテーション</p> <p>ファッションとは、ファッションビジネスとはファッションビジネスの歴史</p> <p>ファッション関連産業の業種業態</p> <p>現代アパレル産業の抱える問題・そのグループディスカッション</p> <p>EC、ネットビジネス</p> <p>計数管理</p> <p>計数テスト</p> <p>アパレルマーチャンドライジング・そのマップ演習</p> <p>マッププレゼンテーション</p> <p>海外市場について</p> <p>未来計画・そのプレゼンテーション</p>					

科目名	和装知識・着付け				
単位数	1単位（30時間）			科目コード	2026ST209
必・選の別	必修	開講時期	前期	授業の形式	実習
学科（コース）・学年	スタイリスト科2年				
担当教員名	江原妙子				
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である江原妙子は、フリーランスとして着付に15年以上以上携わった実績を踏まえ、着付師の実務者の観点から授業を行う。				
授業の目標および概要	下着、補整のつけ方 浴衣の着付け 自装、他装（トルソー） 撮影時のテクニック				
使用教材・教科書等	着付道具一式（補整用フェイスタル2本/腰ヒモ4本、衿芯、浴衣、細帯、裾よけ、肌襦袢）				
成績評価方法	実技100%				
授 業 計 画					
1. 着付けに必要な小物と使い方、補整 2. 浴衣の着付け（自装） 3. 浴衣の着付け（他装） 4. 浴衣の着付け（トルソー） 5. 男性の浴衣の着付け（補整と帯結び）					

科目名	ネイルⅡ				
単位数	1単位（40時間）			科目コード	2026ST210
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式	実習
学科（コース）・学年	ｽﾀｲﾘｽﾄ科2年				
担当教員名	澤山佳江				
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である澤山佳江は、ネイリスト業務に17年以上携わった実績を踏まえ、ネイル業務の実務者の観点から授業を行う。				
授業の目標および概要	ネイルケア、ポリッシュ、ジェルの工程を学び、各自オリジナルのコンセプトに基づいたチップを作成する。また、ネイルの技術、デザインを学び、今後の色々な分野で応用していきけるようにする。				
使用教材・教科書等	ネイル商材一式、筆記用具、スマートフォン				
成績評価方法	チップの完成度、アイデア、授業への取り組み方				
授 業 計 画					
1. 自己紹介、商材の説明、ケアやり方、実践 2. ネイルケアの実践、ポリッシュカラーの実践 3. ジェルネイル手順、説明、実践、オフの仕方(相モデル) 4. ジェルネイルの説明、実践、オフの説明(相モデル) 5. ジェルアート(チップ) 6. ジェルネイルアート(チップ) 7. ジェルネイルアート(チップ) 8. チップ制作 9. チップ制作 10. チップ制作、完成 ※6、7あたりは相モデルも可					

科目名	ヴィジュアルデザイン				
単位数	2単位（60時間）			科目コード	2026ST211
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式	実習
学科（コース）・学年	ｽﾀｼﾞｽﾄ科2年				
担当教員名	今井利匡				
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である今井利匡は、企業のインハウスデザイナー及びフリーランスとしてグラフィックデザイン業務に15年以上携わった実績を踏まえ、グラフィックデザイナーの実務者の観点から授業を行う。				
授業の目標および概要	CGソフトの基本操作及び応用を習得する。 グラフィックデザインの基礎・考え方を学び、課題を通してイメージを具現化できる技術の習得を目指す。				
使用教材・教科書等	Adobe ILLUSTRATOR・PHOTOSHOP iPad・USBメモリ				
成績評価方法	課題100%（平均点）				
授 業 計 画					
1. Illustrator・Photoshop応用 Illustrator・Photoshopのスキル確認、復習及び応用を学ぶ 2. グラフィックデザインの基礎 レイアウト・配色の基礎、デザインコンセプト・プレゼンテーション画像の作成方法、画像生成AIの基礎等、グラフィックデザインに必要な知識を学ぶ 3. ファッションマガジン作成 オリジナルのファッションマガジンの作成及びプレゼンデータの作成 4. thankyouカード レイアウト、テキスト加工方法を学ぶ 5. ポスター作成 オリジナルポスターの作成及びプレゼンデータの作成					

科目名	品質管理			
単位数	1単位（20時間）		科目コード	
必・選の別	必修	開講時期	後期	授業の形式
学科（コース）・学年	スタイリスト科2年			
担当教員名	親松俊介			
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である親松俊介は、企業にてパターン作成、生産管理、裁断、品質管理業務に従事した実績を踏まえ、実務者の観点から授業を行う。			
授業の目標および概要	<ul style="list-style-type: none"> ・品質管理という職種について ・品質とは何か 品質の定義 ・アパレル製品の製造工程の理解 ・不良品が発生した場合の企業の対応 ・その他の品質管理に関する事項について学ぶ 			
使用教材・教科書等	デジタル配布物・筆記具・ノート			
成績評価方法	出席率80% 試験の結果20%			
授業計画				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 品質管理とは 品質管理という職種 どんな仕事をするのか 2. 品質管理はなぜ必要か 品質が管理されないとどうなるか 3. 品質のハードとソフト 物性と感性 4. 品質は誰が決めるのか 消費者と品質 5. アパレル製品製造の流れ 素材 糸 布地 生産 流通 店舗 消費者の購入後の問題 6. アパレル製品に関する法律等 7. 染色に関する用語 8. 品質表示、原産国表示 9. その他の専門用語について 				

科目名	特別講義 II				
単位数	1単位 (20時間)		科目コード	2026ST213	
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式	講義
学科 (コース) ・ 学年	スタイリスト科2年				
担当教員名	親松俊介・各回ゲスト講師				
教員の実務経験の有無と該当教員のプロフィール	-				
授業の目標および概要	<p>専門性の高い、現場で活躍する講師を迎え、ファッション業界の最新の動向を知るとともに、普通の授業だけでは学ぶことのできない幅広い知識を身につける。</p> <p>また、他の科のプレゼン発表を見学したり、コミュニケーションを図る授業</p>				
使用教材・教科書等	特になし				
成績評価方法	授業への出席 (100%)				
授 業 計 画					
<p>1.スタイリストの話 (2時間 1コマ)</p> <p>2.就職ガイダンス (8時間 4コマ)</p> <p>3.プレゼン発表見学 (8時間 4コマ)</p> <p>4.コミュニケーション (2時間 1コマ)</p>					

科目名	服飾造形Ⅰ			
単位数	8単位（240時間）		科目コード	2026FB101
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式
学科（コース）・学年	スタイリスト科1年・ファッションビジネス科1年			
担当教員名	鹿島夢奈			
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である鹿島夢奈は、アパレル企業で販売を経て、個人事業主として衣装製作業務、婦人服企画を7年間の実績を積む。そこではデザイン、パターン製作、縫製業務、スタイリスト業務と一貫して取り行ってきた。ファッション商品の製作実務者の観点から授業を行う。			
授業の目標および概要	<p>◎アパレル業界の仕事及び、それに関わる洋服の知識を得る。 ※洋服の知識：サイズ、アイテム名、ディテール、素材等</p> <p>◎服飾造形：帽子・パンツ・シャツの制作を通して以下のことを学ぶ。</p> <p>①パターンとは ②デザインと生地との相性と取扱いについて ③ディテール・デザインの理解 ④コーディネート力 ⑤デザインバランス検討する力 ⑥専門用語の理解</p>			
使用教材・教科書等	オリジナルテキスト・書き込み式資料 帽子、パンツ、シャツの基本パターンを配布※配布パターンについては、サイズとデザインを選択			
成績評価方法	課題点・後期試験・出席率の平均（小数点以下第一四捨五入）			
授 業 計 画				
<p>1. 服飾造形の基礎概説・用具の扱いについて 基礎縫い：手縫い・ミシン縫い・ロックミシン縫い スナップ・ボタン・鍵ホック付け含む</p> <p>2. 縫製理解を得る服の解体・服飾造形の知識デザインの適宜と特性、ファッション商品知識 専門用語解説</p> <p>3. 帽子講義・市場調査・実物製作・コーディネート提案</p> <p>4. パンツ講義・市場調査・実物製作・コーディネート提案</p> <p>5. シャツ・ブラウス講義・市場調査・実物製作・コーディネート提案</p>				

科目名	カラー I			
単位数	3単位 (50時間)		科目コード	2026FB102
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式
学科 (コース) ・学年	スタイリスト科1年・ファッションビジネス科1年			
担当教員名	原田弘美			
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	-			
授業の目標および概要	色の三属性やトーンシステムなどの色彩の体系と、色の見え方や色彩心理などの色彩基礎、ファッション産業における色彩理論、さらに、調和のとれた基本の配色方法を学びます。 「ファッション色彩能力検定3級」の取得を目指し、将来的に色彩の知識（資格）を活かすことを目標とします。			
使用教材・教科書等	教科書「ファッション色彩 [1]」「ファッション色彩3ーファッション色彩能力検定試験3級公式問題集ー」、ベーシックカラー140、カッター、カッター定規、のり、ノート、筆記具			
成績評価方法	試験90%、出席率10%			
授 業 計 画				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 色彩について・・・検定について カラーチャート作成 2. 色彩の体系・・・色の三属性、ヒュー&トーン 3. 色彩理論ー基礎・・・光と色、三原色と混色 視覚と色、色彩と心理、色彩の感情効果 4. 色彩の技術・・・配色の基礎 色相を基準にした配色、トーンを基準にした配色 色彩構成の基礎 5. ファッション産業と色彩・・・色彩の役割、企画、生産、流通段階の色彩 6. 色名・・・色名について 7. 検定試験対策・・・復習、総合模擬試験、まとめ 				

科目名	FB概論 I			
単位数	4単位 (60時間)		科目コード	2026FB103
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式
学科(コース)・学年	スタイリスト科1年・ファッションビジネス科1年			
担当教員名	森田豊樹			
教員の実務経験の有無と該当教員のプロフィール	講師である森田豊樹は、アパレルメーカー、(株)バツにおいて、営業職、生産管理職、MD(ブランドリーダー)職、経営計画室において9年以上携わった実績を踏まえ、MD(ブランド責任者)及び経営計画責任者の実務者の観点から授業を行う。			
授業の目標および概要	ファッションビジネス能力検定3級合格 アパレル業界の仕組み・流れの把握			
使用教材・教科書等	教科書・筆記用具			
成績評価方法	試験・出席率の合計平均			
授 業 計 画				
<p>■第1章ファッションビジネスの概要</p> <p>1.ファッションビジネスの定義と特性/2.繊維ファッション産業の流れ</p> <p>■第2章ファッション消費と消費者行動</p> <p>1.消費者行動とファッション表現/2.ライフスタイルとファッション/3.お客様の購買行動</p> <p>■第3章アパレル産業と小売産業</p> <p>1.アパレル産業の概要/2.ファッション小売業の概要</p> <p>■第4章ファッションマーケティング</p> <p>1.マーケティングの基礎知識/2.マーケティング上の分類方法/3.市場調査の基礎知識</p> <p>■第5章ファッションマーチャンダイジング</p> <p>1.マーチャンダイジングの基礎知識/2.商品企画・生産・販売の流れ/3.売場商品構成の基礎知識</p> <p>■第6章ファッション流通</p> <p>1.流通/2.ファッション小売業の仕組みと業務</p> <p>■第7章ビジネス基礎知識</p> <p>1.会社に関する基礎知識/2.企業の組織/3.企業会計/4.計数知識</p> <p>■FB検定過去問・傾向・対策</p> <p>■市場調査～班ワーク～プレゼン</p> <p>■試験対策・解説・総括</p>				

科目名	西洋服装史			
単位数	2単位（30時間）		科目コード	2026FB104
必・選の別	必修	開講時期	前期	授業の形式
学科（コース）・学年	スタイリスト科1年・ファッションビジネス科1年			
担当教員名	原田弘美			
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	-			
授業の目標および概要	衣服の起源と古代から現代までの西洋服飾の変遷を、映像を使用しながら解説します。文化、芸術、宗教など様々な歴史との関連を持つ装いを理解し、過去の装いが現代のファッションやデザイナーに影響を与えていることを踏まえつつ、興味と知識を深め、新たなデザイン発想やスタイリングに活かせることを目標とします。			
使用教材・教科書等	文化ファッション大系「西洋服装史」、タブレットノート、ペン			
成績評価方法	試験90%、出席率10%			
授 業 計 画				
1. 衣服の起源・・・・・・・・衣服の起源と役割 2. 古代の服飾・・・・・・・・古代エジプト、古代ギリシャ、古代ローマの服飾 3. 中世の服飾・・・・・・・・ビザンチン、ロマネスク、ゴシックの服飾 4. 近世の服飾・・・・・・・・ルネサンス、バロック、ロココの服飾 5. 近代の服飾・・・・・・・・第一帝政時代、第二帝政時代、第三共和制時代の服飾 19世紀末期の服飾、スポーツウエア、19世紀男性スタイル 6. 現代の服飾・・・・・・・・ファッション産業の基盤 20世紀初頭の服飾 1920年代～1950年代のファッション 1960年代～2000年代のファッション				

科目名	ディスプレイ I			
単位数	1単位 (30時間)		科目コード	2026FB105
必・選の別	必修	開講時期	後期	授業の形式
学科(コース)・学年	スタイリスト科1年・ファッションビジネス科1年			
担当教員名	萩原充子			
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である萩原充子は、フリーランスとしてディスプレイとVMD業務に25年以上携わった実績を踏まえ、ディスプレイの実務者の観点から授業を行う。			
授業の目標および概要	ディスプレイの基本知識とテクニックの習得。 グループワークでの実習を行いコミュニケーション力の向上。 最終で企画～準備～実践を通して計画性を養う。			
使用教材・教科書等	教科書 文化ファッション大系『ディスプレイ・VP・VMD』 iPad (またはスマホ) ハサミ・カッター等			
成績評価方法	課題50%、出席50%			
授 業 計 画				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 基本知識の習得 (講義) …ディスプレイとは、売場における考え方、役割、用語、道具、テクニックの名称 2. 基本テクニックの習得 (実習) 実習で体験することでテクニックを理解する …空間構成 …洋服、雑貨の扱い方 …マネキンとボディに着せ付け …ラッピング 3. ショーウィンドーリサーチ (実習) ショーウィンドーを見学しディスプレイ視点を養う。 …校外学習 街中のWDリサーチ レポート作成 4. ディスプレイ実践 (講義/実習) 企画～準備～実践をして考え方、流れを習得する …5W1H …計画書、イメージコラージュ作成 …机上ディスプレイ実践 …レポート作成 				

科目名	スタイリングⅠ			
単位数	2単位（60時間）		科目コード	2026FB106
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式
学科（コース）・学年	スタイリスト科1年・ファッションビジ 初科1年			
担当教員名	山田涼雅			
教員の実務経験の有無と該当教員のプロフィール	講師である山田涼雅は、アパレルブランドにて販売員、副店長を担当しSNSマーケティングやEC管理、バイヤーを行う。アパレルブランドも展開しており得た実績を踏まえ実務者の観点から授業を行う。			
授業の目標および概要	<p>【目標】 基礎から実践までスタイリングスキルを身につけ、自分のスタイルを確立し、様々な媒体パターンに添って提案力を鍛える。 最終目標として、AIを駆使しスタイリングを考える人材を目指します。</p>			
使用教材・教科書等	スマートフォン、iPad、アップルペンシル、Maison AI			
成績評価方法	課題100%			
授 業 計 画				
<p>【1回目】 オリエンテーション 【2.3.4.5回目】 基本的なスタイリング例を各媒体からピックアップし解説 【5.6.7.8.9.10.11.12.13回目】 スタイリストをピックアップし解説(3人) そのスタイリストになったつもりで、テーマに合わせてスタイリングを考える 【16.17.18.19.20回目】 Maison AI導入、人物を設定し、特徴を捉え企画を考える 【21.22.23.24回目】 チームを組み作品撮り。テーマやシーズンをAIで企画を考えて行う。 【25.26.27.28.29.30回目】 (ここから分岐) ファッションビジネス科 →媒体、人物を設定し、特徴を捉えシーズン企画を考える。AIで企画MAPを制作。 スタイリスト科 →MINI企画連動。企画案をAIも用い考えていく。</p>				

科目名	英会話Ⅰ			
単位数	3単位（50時間）		科目コード	2026FB107
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式 講義
学科（コース）・学年	スタイリスト科1年・ファッションビジネス科1年			
担当教員名	渡辺聡彦			
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である渡辺聡彦は、英会話スクール経営。各種学校、英会話専門塾、官公庁や各種企業からの依頼・オーダーに合わせ、文法、英会話をはじめ、英検・TOEIC・TOEFLなどの試験対策を行い、10年以上に渡り、1,000人以上の日本人・外国人に英語指導。			
授業の目標および概要	出来るだけ楽しく英語を学び、日常生活等、身近で簡単な事から英語で使えるようにし、英語での接客・対応が出来るように学ぶ。ファッション関連用語や有名ブランドの英語発音を知り、発音出来る様にする。			
使用教材・教科書等	新しい接客本 と渡辺製作のオリジナル教材（iPhoneかiPad、又はスクリーン使用）			
成績評価方法	出席80%、課題20%			
授 業 計 画				
<ol style="list-style-type: none"> 1. ファッションに関する単語、ブランドの発音を知り発音できるようにする。 2. 日常生活で使えるような簡単な単語、フレーズから学び、使えるようにしていく。 3. 間違いを恐れず、英語を話す、使う、考える習慣をつける様な環境作りの推進。 4. 英語での接客・対応が出来るように学ぶ。 5. 高校までに習った文法を学び直す。 				

科目名	ロールプレイングⅠ			
単位数	1単位（30時間）		科目コード	2026FB108
必・選の別	必修	開講時期	後期	授業の形式 実習
学科（コース）・学年	ファッションビジネス科1年			
担当教員名	佐藤友梨			
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である佐藤友梨は、(株)PAL、タキヒヨー(株)にて販売及び企画業務に10年以上携わった実績を踏まえ、接客ロールプレイングの実務者の観点から授業を行う。			
授業の目標および概要	<p>目標：校内外のロールプレイング大会入賞レベルを目指した接客の基礎、コミュニケーション能力の向上。前期で習得したスキルを更に深め、ロールプレイングを通して即戦力となる人材を育成する。共感力に注視したロールプレイングによる接客実技指導。</p> <p>希望者にはポートフォリオとして就職活動に活用する。</p> <p>形式：講義、ディスカッション、ロールプレイング、グループワーク</p>			
使用教材・教科書等	コーディネート用洋服2～7着、筆記用具、iPad、ノート			
成績評価方法	1. 参加態度・積極性（20%） 2. 自己目標値に対する習熟度・課題（40%） 3. 最終実践評価（40%） <input checked="" type="checkbox"/>			
授 業 計 画				
<p>1: ロールプレイングの意義と基本* ロールプレイングとは何か（目的と効果）* おさらいと評価基準の説明* 実践的な接客力を磨くためのポイント* 短時間のロールプレイング体験（実演販売） 到達目標* ロールプレイングの目的を理解し、実践意識を高める</p> <p>2: ファーストアプローチとメリットピックアップ* 第一印象の重要性（表情・声・距離感）* お客様との自然な会話の始め方* 商品の長所をメリットに変える*（ファーストアプローチと商品説明） 到達目標* お客様とスムーズに会話を始め、商品を魅力的に伝えるスキルを習得する</p> <p>3: 今シーズンのトレンドを把握する* 今年のトレンド分析（ファッション・ライフスタイルなど）* トレンドを接客に活かす方法* グループワーク（トレンドを取り入れた接客シナリオ作成） 到達目標* 最新トレンドを理解し、接客に応用する</p> <p>4: 目的のあるお客様ロールプレイング実習* 「目的のあるお客様」とは（ニーズの違いを理解）* ケース別ロールプレイング（「特定の商品を探しているお客様」など）* フィードバックと改善 到達目標* お客様の目的に応じた柔軟な対応を学ぶ</p> <p>5: ロープレ上級者の模倣動画作成* 大賞受賞者や優れたロールプレイングの分析* 優秀な接客のポイントを抽出* 模倣ロールプレイングを動画で撮影・振り返り 到達目標* 上級者の接客技術を取り入れ、自分の接客力を高める</p> <p>6: クローজिंगの技術* 自然なクロージングの方法* 「押し売り」にならないクロージングとは？* ケース別ロールプレイング（価格の提案、迷っているお客様の対応） 到達目標* 自然な形でお客様に購入を促せるようになる</p> <p>7: ロールプレイング用商品の選別* 各自がロールプレイングで扱う商品を選ぶ* 商品の長所を分析し、接客シナリオを作成* 発表とフィードバック 到達目標* 自分の接客スタイルに合った商品説明ができるようになる</p> <p>8: ロープレ大会に向けた基礎* 大会のルールと審査基準の確認* 高評価を得るためのポイント* 練習ロールプレイング&フィードバック目標を個人で設定する 到達目標* 大会に向けた基礎を固め、意識を高める</p> <p>9: ロールプレ大会に向けた実践演習* 大会に向けた本番形式のロールプレイング* 互いにフィードバックを行い、改善点を見つける* 表現力・話し方の強化 到達目標* 本番を意識した実践的なロールプレイングを行う</p> <p>10～12: ロールプレイング大会* 校内ロールプレイング大会の開催* 参加者全員が本番形式でロールプレイングを実施* 採点・評価 到達目標* 本番の緊張感の中で、実力を試す</p> <p>13: 大会フィードバック&改善トレーニング* 校内大会の振り返り（良かった点・改善点）* 審査員からのフィードバック* もう一度ロールプレイングを行い、改善点を活かす 到達目標* 大会での経験を活かし、より良い接客を目指す</p> <p>14: ロープレ大会表彰式* 校内ロープレ大会の結果発表* 受賞者の表彰（最優秀賞、優秀賞、特別賞など）* 受賞者の優れたポイントを分析・共有 到達目標* 優秀な接客技術を共有し、学びを深める</p> <p>15: 総まとめ・今後の成長プラン* 授業の振り返り（成長した点・課題）* 各自の成長プランを考える* ロールプレイング演習&フィードバック 到達目標* 今後の接客スキル向上のための目標を設定する</p>				

科目名	オフィスPC			
単位数	2単位（60時間）		科目コード	2026FB109
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式 実習
学科（コース）・学年	ファッションビジネス科1年			
担当教員名	今井利匡			
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である高橋晶恵は、企業にて婦人服デザイナー・パタンナー等業務に従事。 講師である今井利匡は、企業のインハウスデザイナー及びフリーランスとしてグラフィックデザイン業務に従事。			
授業の目標および概要	マイクロソフト社が出しているOffice2019からWord、Excel、PowerPointを使用したPC基礎を学ぶ。特にExcelに関しては、その機能を知り、実習課題を通して実際の現場で使用できるよう練習する。アパレル専門用語の習得も兼ねる。 グラフィックの基礎を学ぶために使用するソフトは、Illustrator・Photoshopである。 課題としては、ポストカードを作成する。			
使用教材・教科書等	オリジナルテキスト			
成績評価方法	提出物、出席率、グラフィック試験点の平均値を点数化する			
授 業 計 画				
<ol style="list-style-type: none"> 1. PCの基本操作、データの処理および管理方法について 2. Word書式の設定、文字入れ 3. Excel基礎・Excelの機能について：画面構成 セルについて、データの記入 表の作成、行と列 4. Excel応用データベースについて：売上表作成 関数について：数式の入力、相対参照と絶対参照他 5. PowerPointプレゼンテーション資料の作り方 ipadの活用のためにkeynoteの使い方を学ぶ 6. Illustrator-Photoshop グラフィックデータの基礎知識 7. Illustrator Illustratorの基礎操作を学ぶ 8. Photoshop Photoshopの基礎操作を学ぶ 				

科目名	販売論Ⅰ			
単位数	2単位（30時間）		科目コード	2026FB110
必・選の別	必修	開講時期	前期	授業の形式
学科（コース）・学年	ファッションビジネス科1年			
担当教員名	佐藤友梨			
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である佐藤友梨は、(株)PAL、タキヒヨー(株)にて販売及び企画業務に10年以上携わった実績を踏まえ、販売の実務者の観点から授業を行う。			
授業の目標および概要	接客の基礎、社内コミュニケーション能力の向上及び、ブランド研究やコンセプト研修を通し、理論と実践をバランスよく学びながら、接客スキル、販売員としての基礎知識、実践的なコミュニケーション能力を習得する。☑ 形式：講義、ディスカッション、ロールプレイング、グループワーク			
使用教材・教科書等	コーディネート用洋服2～7着、筆記用具、ipad（参考資料閲覧）、ノート			
成績評価方法	1. 参加態度・積極性（20%） 2. 自己目標値に対する習熟度・課題（40%） 3. ミニテスト（40%）			
授 業 計 画				
<p>1：オリエンテーション* 講師自己紹介・他己紹介* 研修の目的・流れ・評価基準の説明* ロールプレイについての説明* 交流タイム（アイスブレイク） 到達目標* 研修の流れを理解し、参加者同士の関係を築く</p> <p>2：接客とは？* 接客の種類と役割* 良い接客とは？（ディスカッション）* 接客の基本的なマインドセット 到達目標* 接客の本質を理解し、自身の考えを整理する</p> <p>3：現在の販売員の仕事* 販売員の役割（職種の違い）* ソーシャルスタイル診断・MBTI診断* 顧客タイプごとの対応を考える（グループワーク） 到達目標* 自分の接客スタイルを知り、顧客のタイプに応じた接客を学ぶ</p> <p>4：お辞儀と笑顔のトレーニング* お辞儀の種類と意味（実践）* 笑顔の重要性（表情トレーニング）* 印象管理の基礎 到達目標* 第一印象を向上させるスキルを身につける</p> <p>5：採寸の基本* 採寸の基礎知識* 採寸実技（ペアワーク）* 正確な測り方と注意点 到達目標* 正確な採寸技術を習得し、お客様対応に活かす</p> <p>6：接客敬語の基礎* 敬語の基本（尊敬語・謙譲語・丁寧語）* 接客時に使うフレーズ集* ミニテスト（間違いやすい敬語チェック） 到達目標* 正しい敬語を使い、信頼される接客を実践できる</p> <p>7：マインドマップを活用した接客思考* マインドマップとは？* 接客の流れを可視化するワーク* 作成したマインドマップの発表・共有 到達目標* 論理的に接客を整理し、流れを把握する</p> <p>8：雑談力向上トレーニング* 雑談の重要性（信頼関係構築）* 雑談のコツ（話題の選び方）* 雑談のロールプレイング 到達目標* スムーズな会話の流れを作り、お客様と関係を築く</p> <p>9：褒める技術と実践* 褒めることの心理的効果* 「褒める」と「お世辞」の違い* 実践トレーニング 到達目標* 自然な褒め方を習得し、お客様の満足度を高める</p> <p>10：職場でのマナー* 社内での基本マナー（報連相）* 社内メール・チャットの書き方* 上司・先輩とのコミュニケーションの取り方 到達目標* 社内コミュニケーションを円滑にするスキルを身につける</p> <p>11：共感力と聞き方トレーニング* 共感とは？* 傾聴の基本スキル* ロールプレイング演習 到達目標* お客様の気持ちを理解し、共感を示せるようになる</p> <p>12：電話・メール対応の基本* 電話対応のポイント（敬語・フレーズ）* メール作成のコツ* ケース別ロールプレイング 到達目標* 正確かつ丁寧な電話・メール対応ができるようになる</p> <p>13：メリットピックアップトレーニング* 商品の特徴をメリットに変換する方法* グループワーク（メリットを考える）* 発表・フィードバック 到達目標* 商品の魅力を的確に伝えられるスキルを習得する</p> <p>14：ファーストアプローチと動的待機* 第一印象の重要性（表情・声・態度）* 動的待機の意味と実践（待機中の行動）* ロールプレイング演習 到達目標* 自然な形でお客様にアプローチし、接客の第一歩を踏み出せる</p> <p>15：総合実践・課題説明* 商品に繋げて話すトレーニング（ロールプレイング）* 夏休み課題の説明（良い接客を受ける・評価する）* 振り返り・質疑応答 到達目標* 実践的な接客スキルを総合的に確認し、次のステップに活かす</p>				

科目名	ブランド研究			
単位数	2単位（60時間）		科目コード	2026FB111
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式
学科（コース）・学年	スタイリスト科1年・ファッションビジネス科1年			
担当教員名	山田涼雅			
教員の実務経験の有無と該当教員のプロフィール	講師である山田涼雅は、アパレルブランドにて販売員、副店長を担当しSNSマーケティングやEC管理、バイヤーを行う。アパレルブランドも展開しており得た実績を踏まえ実務者の観点から授業を行う。			
授業の目標および概要	<p>【目標】 基礎から実践までスタイリングスキルを身につけ、自分のスタイルを確立し、様々な媒体パターンに添って提案力を鍛える。 最終目標として、AIを駆使しスタイリングを考える人材を目指します。</p>			
使用教材・教科書等	スマートフォン、iPad、アップルペンシル、Maison AI			
成績評価方法	課題100%			
授 業 計 画				
<p>【1回目】 オリエンテーション 【2.3.4.5.6.7.8.9.10回目】 ファッションブランド解説 【11.12.13.14.15回目】 個々の感性や好きなファッションテイストをMAPで3つ表現、プレゼン 【16.17.18.19.20回目】 Maison AI導入、各年代のファッションの特徴と自分らしさをミックスさせてプレゼン 【21.22.23.24回目】 アートからの発想。外出し展覧会をハシゴ。その中からインスピレーションを反映。 【25.26.27.28回目】 音楽からの発想。各音楽ジャンルと自分らしさをミックス。</p>				

科目名	マテリアルⅠ			
単位数	2単位（30時間）		科目コード	2026FB112
必・選の別	必修	開講時期	後期	授業の形式 講義
学科（コース）・学年	スタイリスト科1年・ファッションビジネス科1年			
担当教員名	親松俊介			
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である親松俊介は、企業にてパターン作成、生産管理、裁断、品質管理業務に従事した実績を踏まえ、実務者の観点から授業を行う。			
授業の目標および概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ アパレルでの仕事に必要な素材に関する知識を習得する ・ 第1章「アパレルと素材」 ・ 第2章「繊維」（3.天然繊維まで） ・ 第3章「糸」（5.糸の構造まで） ※試験については授業の進度に合わせて5回実施し、5回分の合計点が60点に満たない場合、再試験対象とする。			
使用教材・教科書等	・教科書「アパレル素材論」・デジタル配布物・筆記具			
成績評価方法	試験結果と出席率の平均			
授 業 計 画				
1. アパレル素材の世界 アパレル素材について ファッション製品と素材 2. アパレルと素材 アパレル用繊維に求められる要件など 3. 天然繊維 綿 麻 ウール（羊毛） 獣毛 絹 4. 糸について 糸とは 糸の種類 糸の太さ 糸づくり実習				

科目名	コーディネートⅠ			
単位数	1単位（50時間）		科目コード	2026FB113
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式
学科（コース）・学年	ファッションビジネス科1年			
担当教員名	三宅康代			
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である三宅康代は、企業にてデザイナー・チーフデザイナー、マーチャンダイザーに従事、(有)ジオ設立代表取締役役に携わった実績を踏まえ、実務者の観点から授業を行う。			
授業の目標および概要	1) コーディネートの基礎知識の習得 2) 楽しみながらコーディネート能力を身に付ける 3) BODYと衣装、小物で実践のコーディネート訓練 4) プレゼンテーション能力を身に付ける 5) お洒落に前向きに取り組むセンスUP 6) コーディネート提案する演者さん・お客様にお似合いになる色・素材・フォルム・テイストを診断する力を身につける			
使用教材・教科書等	iPad・教科書・ノート・筆記用具・ファッション誌・A4ケント紙・A4ファイル MAP制作用具（はさみ・のり・カッター・定規・カッターボード・カラーペン・色鉛筆等）・カラーチップ・USB			
成績評価方法	課題&プレゼンテーション（100%）			
授 業 計 画				
1. カラー解説～MAP制作～プレゼンテーション 2. 商品イメージ“テイスト8分類”解説～マーケットリサーチ～MAP制作～置き撮りCD実践～プレゼンテーション 3. ライフスタイルオケージョン解説～MAP制作～置き撮りCD実践～プレゼンテーション 4. テクスチャーコーディネートの解説 5. F・アドバイザーとして必要な知識 ①パーソナルカラードレーピング ②骨格診断 ③顔診断 ～パーソナルカラー解説～ ドレーピング実践⇒MAP制作～プレゼンテーション				

科目名	マーケティング			
単位数	4単位（60時間）		科目コード	2026FB114
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式
学科（コース）・学年	ファッションビジネス科1年			
担当教員名	森田豊樹			
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である森田豊樹は、アパレルメーカー、(株)バツにおいて、営業職、生産管理職、MD（ブランドリーダー）職、経営計画室において9年以上携わった実績を踏まえ、MD（ブランド責任者）及び経営計画責任者の実務者の観点から授業を行う。			
授業の目標および概要	<p>マーケティングの概要、手法の種類を理解</p> <p>実際の企業のマーケティング例を知る</p> <p>ファッション商品特性を知る</p> <p>ファッション商品企画とマーケティングの理解</p> <p>販売促進活動の実態について知る</p>			
使用教材・教科書等	筆記用具、礼物のノート			
成績評価方法	試験・出席率の合計平均			
授 業 計 画				
<p>マーケティングの定義、捉え方</p> <p>マーケティングの手法</p> <p>企業のマーケティング活動</p> <p>商品企画とマーケティング</p> <p>ファッション商品特性</p> <p>マーケティング演習</p> <p>海外市場特性</p> <p>シーズン催事と販促</p>				

科目名	FB論 I			
単位数	2単位 (30時間)		科目コード	2026FB115
必・選の別	必修	開講時期	前期	授業の形式 講義
学科(コース)・学年	スタイリスト科1年・ファッションビジネス科1年			
担当教員名	鹿島夢奈			
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である鹿島夢奈は、企業にて婦人服企画職を経て、衣装製作の業務を個人事業主として7年間の実績を積む。そこではデザイン、パターン製作、縫製業務、スタイリスト業務と一貫通貫で取り行ってきた。ファッション商品の製作実務者の観点から授業を行う。			
授業の目標および概要	◎ファッションビジネス能力検定の3級合格を目標とする。 アパレル業界の仕事及び、それに関わる洋服の知識を得る。			
使用教材・教科書等	ファッションビジネス能力検定3級テキスト、オリジナル書き込み用資料 模擬試験			
成績評価方法	出席率・試験の平均点(小数点以下第一四捨五入)			
授 業 計 画				
1. 検定試験対策ファッションビジネス能力検定試験3級 ファッション造形知識の試験対策 2. 検定試験の為に模擬試験を行う				

科目名	特別講義Ⅰ			
単位数	1単位（20時間）		科目コード	2026FB116
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式 講義
学科（コース）・学年	ｽﾀｲﾘｽﾄ科1年			
担当教員名	山田涼雅・各回ゲスト講師			
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	-			
授業の目標および概要	<p>現場で活躍する講師を迎え、ファッション業界の最新の動向を知るとともに、普段の授業だけでは学ぶことのできない幅広い知識を身につける。</p> <p>また、就職活動に向けての早期に動き出す行動力をつける。</p>			
使用教材・教科書等	特になし			
成績評価方法	授業への出席（100%）			
授 業 計 画				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 就職講座 就職に向けての心構えを始めとし、具体的な進め方、履歴書の書き方やエントリーシートについて学ぶ 2. パーソナルファイナンス 就職後に必要なお金の知識を身につける 3. 選挙講座 政治を自分事としてとらえ、有権者として求められる力を身につける 4. スタイリストの話 				

科目名	服飾造形 II			
単位数	8単位 (240時間)		科目コード	2026FB201
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式
学科(コース)・学年	スタイリスト科2年・ファッションビジネス科2年			
担当教員名	親松俊介			
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である親松俊介は、企業にてパターン作成、生産管理、裁断、品質管理業務に従事した実績を踏まえ、実務者の観点から授業を行う。			
授業の目標および概要	◎1年次の基礎知識をベースに、アパレル製品・アパレル素材の基礎知識を広げる。扱う素材は主にニット素材とウール。◎講義と、Tシャツ・カットソー・コートの制作を通して以下のことを学ぶ。①デザインに応じた素材選択・パターン展開・サイズ展開②簡単な構成の商品(Tシャツ)のパターンコピーとアレンジ③素材に応じたソーイング資材、ソーイング機器の取り扱い方④伸縮素材の取り扱い方⑤ウール素材の取り扱い方			
使用教材・教科書等	教科書「アパレル素材論」・プリント・洋裁道具・筆記具			
成績評価方法	課題と試験結果の平均			
授 業 計 画				
1. 服飾造形の基礎知識 ニット素材について ニットの性質 カットソーの縫製について 代表的なニット素材について コートについて デザインが特徴的なコート ウール素材の梳毛・紡毛について コートに適した素材 裏地の機能 芯地の機能 2. Tシャツ 講義・ラブオフ・マーキング・実物製作 3. カットソー(応用デザイン) 講義・市場調査・パターン作成・マーキング・実物製作 4. コート 講義・市場調査・パターン作成・マーキング・実物製作				

科目名	FB概論 II			
単位数	4単位 (60時間)		科目コード	2026FB202
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式
学科(コース)・学年	スタイリスト科2年・ファッションビジネス科2年			
担当教員名	森田豊樹			
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である森田豊樹は、アパレルメーカー、(株)バツにおいて、営業職、生産管理職、MD(ブランドリーダー)職、経営計画室において9年以上携わった実績を踏まえ、MD(ブランド責任者)及び経営計画責任者の実務者の観点から授業を行う。			
授業の目標および概要	ファッションビジネス業会の概要理解を踏まえ、アパレルメーカーに属する専門職種の仕事内容の理解、求められる人材像を知りそこへ近づくためのスキルを知る。計数管理応用を習得する。			
使用教材・教科書等	筆記用具、礼物のノート、iPad			
成績評価方法	試験・出席率の合計平均			
授 業 計 画				
<p>オリエンテーション</p> <p>ファッションとは、ファッションビジネスとはファッションビジネスの歴史</p> <p>ファッション関連産業の業種業態</p> <p>現代アパレル産業の抱える問題・そのグループディスカッション</p> <p>EC、ネットビジネス</p> <p>計数管理</p> <p>計数テスト</p> <p>アパレルマーチャンダイジング・そのマップ演習</p> <p>マッププレゼンテーション</p> <p>海外市場について</p> <p>未来計画・そのプレゼンテーション</p>				

科目名	ディスプレイⅡ			
単位数	1単位（50時間）		科目コード	2026FB203
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式
学科（コース）・学年	ファッションビジネス科2年			
担当教員名	萩原充子			
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である萩原充子は、フリーランスとしてディスプレイとVMD業務に25年以上携わった実績を踏まえ、ディスプレイの実務者の観点から授業を行う。			
授業の目標および概要	ディスプレイテクニックの応用力を習得。 企画～実習を通し創造力と計画性を養う。 グループワークの実習でコミュニケーション力の向上。 後期ではVMDも含めた知識の習得、販売現場の人材育成。			
使用教材・教科書等	教科書 文化ファッション大系『ディスプレイ・VP・VMD』 iPad（またはスマホ）ハサミ・カッター等			
成績評価方法	課題50%、出席50%			
授 業 計 画				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 売場におけるディスプレイ 講義 …1年復習 教科書に沿って基本を理解する 2. ディスプレイデザイン 講義・実習 小型WDディスプレイを企画～プラン～製作の一連の流れを体現し、より精度をあげる …テーマの作り方 …ブランド（ショップ）&コンセプトを抽出 …イメージカラー、プラン制作 …『サマー』ディスプレイの製作 …実施後のレポート作成 3. クリスマスディスプレイ 実習 …ツリーのプランニング …オーナメント、ラッピング、ツリーの製作 4. 売場づくりの基本 講義 …教科書に沿って基本を理解する …定点観測レポート提出3回分 5. 売場づくりの応用 実習 POPUPショップを企画～プランを行いVMD視点を習得する …ブランドリサーチ、MD企画 …ゾーニング&レイアウト、インテリア企画 				

科目名	英会話 II			
単位数	3単位 (50時間)		科目コード	2026FB204
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式
学科(コース)・学年	ファッションビジネス科2年			
担当教員名	渡辺聡彦			
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である渡辺聡彦は、英会話スクール経営。各種学校、英会話専門塾、官公庁や各種企業からの依頼・オーダーに合わせ、文法、英会話をはじめ、英検・TOEIC・TOEFLなどの試験対策を行い、10年以上に渡り、1,000人以上の日本人・外国人に英語指導。			
授業の目標および概要	出来るだけ楽しく英語を学び、日常生活等、身近で簡単な事から英語で使えるようにし、英語での接客・対応が出来るように学ぶ。ファッション関連用語や有名ブランドの英語発音を知り、発音出来る様にする。			
使用教材・教科書等	「キクタン接客英会話」、TOEIC本、渡辺が作るオリジナル教材 (iPhoneかiPad、又はスクリーン使用)			
成績評価方法	出席80%、課題20%			
授 業 計 画				
<ol style="list-style-type: none"> 1. ファッションに関する単語、ブランドの発音を知り発音できるようにする。 2. 日常生活で使えるような簡単な単語、フレーズから学び、使えるようにしていく。 3. 間違いを恐れず、英語を話す、使う、考える習慣をつける様な環境作りの推進。 4. 英語での接客・対応が出来るように学ぶ。 5. TOEICとは何かを学び、今後受けるための対策をする。 				

科目名	品質管理			
単位数	2単位（30時間）		科目コード	2026FB205
必・選の別	必修	開講時期	後期	授業の形式 講義
学科（コース）・学年	スタイリスト科2年・ファッションビジネス科2年			
担当教員名	親松俊介			
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である親松俊介は、企業にてパターン作成、生産管理、裁断、品質管理業務に従事した実績を踏まえ、実務者の観点から授業を行う。			
授業の目標および概要	<ul style="list-style-type: none"> ・品質管理という職種について ・品質とは何か 品質の定義 ・アパレル製品の製造工程の理解 ・不良品が発生した場合の企業の対応 ・その他の品質管理に関する事項について学ぶ 			
使用教材・教科書等	デジタル配布物・筆記具・ノート			
成績評価方法	出席率を点数化する 100%が100点			
授 業 計 画				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 品質管理とは 品質管理という職種 どんな仕事をするのか 2. 品質管理はなぜ必要か 品質が管理されないとどうなるか 3. 品質のハードとソフト 物性と感性 4. 品質は誰が決めるのか 消費者と品質 5. アパレル製品製造の流れ 素材 糸 布地 生産 流通 店舗 消費者の購入後の問題 6. アパレル製品に関する法律等 7. 染色に関する用語 8. 品質表示、原産国表示 9. その他の専門用語について 				

科目名	卒業制作			
単位数	2単位（60時間）		科目コード	2026FB206
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式
学科（コース）・学年	ファッションビジネス科2年			
担当教員名	森田豊樹			
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である森田豊樹は、アパレルメーカー、(株)バツにおいて、営業職、生産管理職、MD（ブランドリーダー）職、経営計画室において9年以上携わった実績を踏まえ、MD（ブランド責任者）及び経営計画責任者の実務者の観点から授業を行う。			
授業の目標および概要	現代ファッションビジネスの状況を理解し、この後現れるであろう新しいファッションビジネススタイルの提案と、世の中にある問題各種に対して、ファッションの力で解決する方法はないか仮説を立て、検証し、立証する。これを論文として制作し、発表する。			
使用教材・教科書等	iPad			
成績評価方法	出席率、論文内容、プレゼンテーションの平均			
授 業 計 画				
<p>オリエンテーション 市場調査 検討 コンセプト設計 仮説作成 検証 論文作成実習 中間プレゼンテーション 利益計画 プレゼンテーション用資料作成 修正 最終調整</p>				

科目名	ロールプレイングⅡ			
単位数	1単位（50時間）		科目コード	2026FB207
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式
学科（コース）・学年	ファッションビジネス科2年			
担当教員名	佐藤友梨			
教員の実務経験の有無と該当教員のプロフィール	講師である佐藤友梨は、(株)PAL、タキヒヨー(株)にて販売及び企画業務に10年以上携わった実績を踏まえ、接客ロールプレイングの実務者の観点から授業を行う。			
授業の目標および概要	<p>目的：接客の上級スキルを習得し、個々の強みを活かした高度なロールプレイングを実践する。トレンドを取り入れた商品提案やプレゼント接客、クロージング技術を磨き、9月の校外大会と1月の校内大会で優秀な成績を目指すと共に、現場での即戦力を目指す。希望者には授業内で撮影した動画をポートフォリオとして作成する。</p> <p>形式：ロールプレイング、ディスカッション、動画分析、校内外大会、フィードバック</p>			
使用教材・教科書等	コーディネート用洋服2～7着、筆記用具、iPad、ノート			
成績評価方法	1. 参加態度・積極性・課題提出（30%）2. ロールプレイングの実践力, 応用力深層ニーズの引き出し・提案力(自己・他者評価)（30%）3. 最終実践評価（40%）			
授 業 計 画				
<p>1: オリエンテーション： 授業のねらい・スケジュール説明、前期の自己目標設定、各自の強み・課題を分析、個別フィードバック 到達目標: 授業の目的を理解し、自分の成長計画を立てる</p> <p>2: 1年生でのロールプレイングフィードバックを活かした練習： 1年生時の課題振り返り、改善点分析・共有、ロープレ 到達目標: 自己成長を実感し、課題克服方法を明確にする</p> <p>3: メリットピックアップ上級編： 商品のメリット深掘り、深層ニーズを引き出す質問、ライブ配信用ロープレなど 到達目標: 深層ニーズを活かしてお客様の興味を引き出す</p> <p>4: プレゼント接客のポイント解説： プレゼント選びの心理・ニーズ、相手に合わせた提案、ケース別ディスカッション 到達目標: プレゼント接客のコツを理解し、適切な提案ができる</p> <p>5: 異性・同性へのプレゼント接客： 男女の選び方の違い、シチュエーション別提案、ロープレ 到達目標: 性別・関係性を考慮したプレゼント提案ができる</p> <p>6: プレゼント接客演習と動画分析： 上級者動画分析、自分のロープレと比較・改善点発見、ロープレ 到達目標: 上級者の技術を取り入れ、自分の接客に活かす</p> <p>7: 9月の校外大会に向けた基礎・動画解説： 審査基準・ポイント確認、高評価のポイント整理、ロープレ 到達目標: 校外大会に向けた基礎を固める</p> <p>8: テンドを活かした商品設定とフィードバック： 今季トレンド分析、商品選定・接客ストーリー作成、グループワーク 到達目標: テンドを活かした接客シナリオを作成できる</p> <p>9～11, 15～18: 校外大会前練習： 撮影動画をもとにディスカッション、対応練習、フィードバック、課題対応演習 到達目標: 校外大会で自信を持ってロールプレイングできるよう準備する</p> <p>12: クロージング上級と心理アプローチ、振り返りと自己評価： 購買心理理解、効果的なクロージング、ロープレ、前期目標振り返り 到達目標: 心理学を活かしたクロージングができ、自己成長と課題を明確にする</p> <p>13～14, 19～20: 目的のないお客様への対応： 来店心理の理解、興味を引くアプローチ、試着誘導、ロープレ 到達目標: 目的のないお客様に適切な接客ができ、購買につなげるスキルを習得</p> <p>21～23: オเคーションロールプレイング： フォーマル・カジュアル・ビジネスの場面別接客、敬語復習、ロープレ 到達目標: さまざまなオケーションに対応した接客を身につける</p> <p>24～26: 応用実践トレーニング： 各自の強みを活かしたロープレ、総合演習、VIP・クレーム・特別対応演習 到達目標: 高度な接客スキルを統合し、柔軟に対応できる力を身につける</p> <p>26～29: 1月の校内ロールプレイング大会： 大会開催、採点・評価、フィードバック 到達目標: 本番の緊張感の中で実力を試す</p> <p>30: 振り返りと自己評価： 後期の自己目標振り返り、成長点・課題整理 到達目標: 自己成長を実感し、今後の課題を明確にする</p>				

科目名	ヴィジュアルデザイン			
単位数	1単位 (50時間)		科目コード	2026FB208
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式 実習
学科(コース)・学年	ファッションビジネス科2年			
担当教員名	今井利匡			
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である今井利匡は、企業のインハウスデザイナー及びフリーランスとしてグラフィックデザイン業務に15年以上携わった実績を踏まえ、グラフィックデザイナーの実務者の観点から授業を行う。			
授業の目標および概要	CGソフトの基本操作及び応用を習得する。 グラフィックデザインの基礎・考え方を学び、課題を通してイメージを具現化できる技術の習得を目指す。			
使用教材・教科書等	Adobe ILLUSTRATOR・PHOTOSHOP iPad・USBメモリ			
成績評価方法	課題100% (平均点)			
授 業 計 画				
<ol style="list-style-type: none"> グラフィックデザインの基礎 レイアウト・配色の基礎、デザインコンセプト・プレゼンテーション画像の作成方法、画像生成AIの基礎等、グラフィックデザインに必要な知識を学ぶ Illustrator.Photoshop応用 Photoshop.Illustratorのスキル確認、復習及び応用を学ぶ ステッカーデザイン、完全入稿データの作成方法を学ぶ シルクスクリーン演習 シルクスクリーンの基本知識、デザイン方法を学ぶ オリジナルT-シャツ作成 lookbook用ロゴデータ作成 ロゴデータの作成方法を学ぶ コラージュデザイン インクジェット印刷が可能なコラージュデータの作成 ※投票形式によるコンテスト実施予定。 プレゼンテーションデータの作り方 わかりやすく美しいプレゼンデータの作成方法を学ぶ 				

科目名	販売論 II			
単位数	4単位 (60時間)		科目コード	2026FB209
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式 講義
学科(コース)・学年	ファッションビジ 初科2年			
担当教員名	山田涼雅			
教員の実務経験の有無と該当教員のプロフィール	講師である山田涼雅は、アパレルブランドにて販売員、副店長を担当しSNSマーケティングやEC管理、バイヤーを行う。アパレルブランドも展開しており得た実績を踏まえ実務者の観点から授業を行う。			
授業の目標および概要	販売員としての心理的販売戦略、常に旬な情報の得方や接客方法のノウハウを軸に言葉選びやSNSマーケティングを含めたスキルを得る。副店長クラスの業務進行や上司との関わり方等、社会性、人間性も磨いていく。			
使用教材・教科書等	iPhone、iPad、Maison AI (生成AI)			
成績評価方法	出席率、毎授業の課題、試験			
授 業 計 画				
<p>【0回目】 オリエンテーション</p> <p>【1回目】 ファッション販売知識①</p> <p>【2回目】 ファッション販売知識②</p> <p>【3回目】 ファッション販売知識③</p> <p>【4.5.6回目】 ファッション販売知識④</p> <p>【7回目】 古着販売知識①</p> <p>【8回目】 古着販売知識②</p> <p>【9回目】 古着販売知識③</p> <p>【10回目】 古着販売知識④</p> <p>【11回目】 古着販売知識⑤</p> <p>【12回目】 古着販売知識⑥</p> <p>【13回目】 古着販売知識⑦</p> <p>【14回目】 古着販売知識⑧</p> <p>【15回目】 古着販売知識⑨</p> <p>【16.17.18.19回目】 SNSマーケティング (リサーチ編)</p> <p>【20.21.22回目】 SNSマーケティング (既存ブランドPR編)</p> <p>【23.24.25.26.27.28.29.30回目】 SNSマーケティング (実践編)</p>				

科目名	BVMD I			
単位数	4単位 (60時間)		科目コード	2026FB210
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式
学科(コース)・学年	ファッションビジネス科2年			
担当教員名	大方和則			
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である大方和則は、(株)ハバダッシュリーにてマネージャーとして商業施設や立地戦略などを中心とした広義のVMDの業務に10年以上携わった実績を踏まえつつ、現在は東京、大阪、名古屋、東海、四国、九州と全国の様々なエリアでの講義や取材経験を生かしつつVMDを商業施設、ショップの立地戦略の視点から授業を行う。			
授業の目標および概要	単にショップのVMD構成やテクニックではなく、マーケティングにおいてマクロ的な街やエリアの潮流と、トレンド等のミクロな視点を、商業施設や、路面店という立地戦略と共に広い視点で学ぶ。 講義の半分はファッション業界の最新のニュースを理解し、残り半分はその知識をベースにVMDの意図や狙いをビジネス的な視点で理解する。			
使用教材・教科書等	業界専門誌・各種メディア・現場の写真・動画 デジタルリテラシー向上の為、ペーパーの配布はしません。各自iPad持参すること。			
成績評価方法	授業内課題提出70%、授業態度30% (出席率・参加意識)			
授 業 計 画				
1. ファッション業界の現状 VMDの重要性	16. 2026AWトレンド			
2. 2026年注目の商業施設 2026SSトレンド	17. 10月の各商業施設のVMD戦略			
3. 最新のFBニュース、5月の各商業施設のVMD戦略	18. 10月の各商業施設のVMD戦略			
4. 最新のFBニュース、5月の各商業施設のVMD戦略	19. 10月の各商業施設のVMD戦略			
5. 最新のFBニュース、5月の各商業施設のVMD戦略	20. 10月の各商業施設のVMD戦略			
6. 最新のFBニュース、5月の各商業施設のVMD戦略	21. 11月の各商業施設のVMD戦略			
7. 最新のFBニュース、6月の各商業施設のVMD戦略	22. 11月の各商業施設のVMD戦略			
8. 最新のFBニュース、6月の各商業施設のVMD戦略	23. 11月の各商業施設のVMD戦略			
9. 最新のFBニュース、6月の各商業施設のVMD戦略	24. 12月の各商業施設のVMD戦略			
10. 最新のFBニュース、6月の各商業施設のVMD戦略	25. 12月の各商業施設のVMD戦略			
11. 最新のFBニュース、7月の各商業施設のVMD戦略	26. 12月の各商業施設のVMD戦略			
12. 最新のFBニュース、7月の各商業施設のVMD戦略	27. 1月の各商業施設のVMD戦略			
13. 最新のFBニュース、7月の各商業施設のVMD戦略	28. 1月の各商業施設のVMD戦略			
14. 最新のFBニュース、8月の各商業施設のVMD戦略	29. 1月の各商業施設のVMD戦略			
15. 最新のFBニュース、9月の各商業施設のVMD戦略	30. 1月の各商業施設のVMD戦略			

科目名	ブランド研究Ⅱ			
単位数	2単位（60時間）		科目コード	2026FB211
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式
学科（コース）・学年	ファッションビジ 初科2年			
担当教員名	山田涼雅			
教員の実務経験の有無と該当教員のプロフィール	講師である山田涼雅は、アパレルブランドにて販売員、副店長を担当しSNSマーケティングやEC管理、バイヤーを行う。 アパレルブランドも展開しており得た実績を踏まえ実務者の観点から授業を行う。			
授業の目標および概要	【目標】 企画やブランドディレクターを目指すための力を身につける授業。 個々の好みだけではなく、他テイストへの視野も広げ、個性やスキル、ブランドらしさを引き延ばしていきます。			
使用教材・教科書等	スマートフォン、iPad、アップルペンシル、Maison AI			
成績評価方法	課題100%			
授 業 計 画				
【1回目】 オリエンテーション 【2.3.4.5回目】 個性を表現したテイストMAP作成、プレゼン 【6.7.8.9回目】 テーマからオリジナルブランドを企画 【10.11.12回目】 競合分析。既存ブランドの良さと、オリジナルブランドの強みを比較 【13.14回目】 自分がいま惹かれるものをMAPで表現、オリジナルブランドのシーズンテーマを企画 【15.16.17.18.19.20回目】 ブランドWEBマガジン企画。ロケハン。撮影。 【21.22.23回目】 ブランドWEBマガジン制作。プレゼン資料の用意。 【24.25回目】 ブランドWEBマガジンプレゼン 【26.27.28.29.30回目】 既存ブランドコラボ案。プレゼンまで。				

科目名	マテリアルⅡ			
単位数	2単位（30時間）		科目コード	2026FB212
必・選の別	必修	開講時期	前期	授業の形式 講義
学科（コース）・学年	スタイリスト科2年・ファッションビジネス科2年			
担当教員名	親松俊介			
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である親松俊介は、企業にてパターン作成、生産管理、裁断、品質管理業務に従事した実績を踏まえ、実務者の観点から授業を行う。			
授業の目標および概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ アパレルでの仕事に必要な素材に関する知識を習得する ・ 第2章「繊維」 4.化学繊維 ・ 第3章「糸」 6.その他の糸 ・ 第4章「布地」 ・ 第6章「その他のアパレル素材」 ※試験については授業の進度に合わせて5回実施し、5回分の合計点が60点に満たない場合、再試験対象とする。			
使用教材・教科書等	・教科書「アパレル素材論」・デジタル配布物・筆記具			
成績評価方法	試験結果と出席率の平均			
授 業 計 画				
1. 化学繊維 ポリエステル アクリル ナイロン ポリウレタン PVC レーヨン キュプラ アセテート トリアセテート 2. 糸について その他の糸 加工糸、複合糸など 3. 布地について 布地の種類と表示の規格 4. 織物について 織物の3原組織 平織り 斜文織り 縞子織り 5. その他のアパレル素材 レザー&ファー				

科目名	SNSブランディング			
単位数	2単位 (60時間)		科目コード	2026FB213
必・選の別	必修	開講時期	後期	授業の形式
学科(コース)・学年	ファッションビジネス科2年			
担当教員名	半藤径子、林祐介、ギアン・ジョシュア・リワグ			
教員の実務経験の有無と該当教員のプロフィール	講師である半藤径子は、美容師、ネイリスト、カラーコーディネーター、コスメコンシェルジュの業務に従事。／講師である林祐介は、フリーランスのフォトグラファーとして従事。／講師であるギアンは、インフルエンサーとして活動中。			
授業の目標および概要	<p>【ヘアメイク】自分の個性を見つめ直し、自己をブラッシュアップしたパーソナルスタイリングをする。</p> <p>【フォトワーク】写真撮影の基本となる知識を、スマートフォンでの撮影を通して学ぶ。被写体を魅力的に見せるテクニックを覚える。</p> <p>【プロモーション】新たな販売方法に対する抵抗をなくし、オンライン上の販売、SNSを使用したPR方法を実技で学ぶ</p>			
使用教材・教科書等	<p>【ヘアメイク】メイク道具、ヘアアイロン他ヘアの道具、タオル、鏡、iPad等</p> <p>【フォトワーク】スマートフォン・その他必要なものがある場合は別途連絡</p> <p>【インフルエンサー論】iPad</p>			
成績評価方法	<p>【ヘアメイク】課題+授業態度の平均 【フォトワーク】課題100%</p> <p>【プロモーション】課題100%</p>			
授 業 計 画				
<p>【ヘアメイク】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. スキンケア・ベースメイク・ポイントメイク (眉) 2. スキンケア (復習) ・フェイシャルマッサージ・ベースメイク (復習) ・ポイントメイク (アイメイク、チーク、ハイライト&シャドー、リップ) 3. お悩み解消テクニック・自分にあったメイク・ネイルケアカラー 4. イメージとは・イメージ別メイクの方法と実際・好感度の高いヘアメイク 5. 自己の魅力を生かしたヘアメイク 服に合わせてトータルコーディネート・写真撮り <p>【フォトワーク】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. シュチュエーション (状況) を生かして撮影をする 2. アンクル・ポジション・ディスタンスを意識して撮影をする 3. レンズの効果を利用して撮影をする 4. 光の種類と効果を意識して撮影をする 5. ポージングや小物の効果を意識して撮影をする <p>【プロモーション】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. インフルエンサーとしてのSNS運用について 2. 自己分析、SNSでの発信ノウハウ 				

科目名	特別講義Ⅱ			
単位数	1単位（20時間）		科目コード	2026FB214
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式 講義
学科（コース）・学年	ファッションビジネス科2年			
担当教員名	森田豊樹・各回ゲスト講師			
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	-			
授業の目標および概要	現場で活躍する講師を迎え、ファッション業界の最新の動向を知るとともに、普段の授業だけでは学ぶことのできない幅広い知識を身につける。			
使用教材・教科書等	特になし			
成績評価方法	授業への出席（100%）			
授 業 計 画				
<p>1. マスコミ社会学 織研新聞の記事からファッション業界の現状、問題点、課題を理解し、自身の進路に対する指標とする。</p> <p>2. コレクション情報 パリ、ミラノ、ニューヨーク、東京のコレクションについて知る</p> <p>3. 販売実務（実店舗編） 実店舗での販売実務者から、実査の店舗での仕事の在り方及び運用を学ぶ。</p> <p>4. 販売実務（ECサイト・SNS編） ECサイトと運営及びSNSマーケティング実務者から、実店舗との連携と、サイトでの商品の紹介方法の実務を学ぶ。</p> <p>5. 企業経営実務 経営者から経営の基本、独立起業について、資金調達、融資、仕入、販売計画、在庫計画、商品計画、店舗計画など、将来独立起業に向けた展望を学ぶ。</p>				

科目名	マーチャンダイジング論			
単位数	8単位（120時間）		科目コード	2026MD研01
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式
学科（コース）・学年	マーチャンダイジング 研究科			
担当教員名	森田豊樹			
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である森田豊樹は、アパレルメーカー、(株)バツにおいて、営業職、生産管理職、MD（ブランドリーダー）職、経営計画室において9年以上携わった実績を踏まえ、MD（ブランド責任者）及び経営計画責任者の実務者の観点から授業を行う。			
授業の目標および概要	商品企画についての理解と、演習 計数管理演習による利益計画理解 デザインの定義、分野を知る アイテムごとの種類、シルエット、構造とその意味、機能、バランスについての理解 生産管理業務を知る			
使用教材・教科書等	教科書、筆記用具			
成績評価方法	試験・出席率の合計平均			
授 業 計 画				
<p>オリエンテーション</p> <p>マーチャンダイジングとマーケティング</p> <p>商品企画</p> <p>計数管理演習</p> <p>デザインの定義・分野、近代デザインとアパレルデザイン等</p> <p>服種毎のシルエット、構造とその意味、機能、バランスについての理解</p> <p>生産管理業務</p>				

科目名	フィールドマーケティング			
単位数	10単位 (150時間)		科目コード	2026MD研02
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式
学科(コース)・学年	マーチャンディング研究科			
担当教員名	山田涼雅			
教員の実務経験の有無と該当教員のプロフィール	講師である山田涼雅は、アパレルブランドにて販売員、副店長を担当しSNSマーケティングやEC管理、バイヤーを行う。 アパレルブランドも展開しており得た実績を踏まえ実務者の観点から授業を行う。			
授業の目標および概要	【目標】 企画やブランドディレクターを目指すための力を身につける授業。 個々の好みだけではなく、他テイストへの視野も広げ、個性やスキル、ブランドらしさを引き延ばしていきます。			
使用教材・教科書等	スマートフォン、iPad、アップルペンシル、Maison AI			
成績評価方法	課題100%			
授 業 計 画				
【1回目】 オリエンテーション 【2～4回目】 オリジナルブランド企画、立ち上げ 【5.6回目】 市場調査、フィールドワーク①(裏原宿方面)ソウルバイイングに向けリサーチ 【7回目】 市場調査、フィールドワーク②(恵比寿方面) 【8回目】 ソウル滞在、バイイング研修 【9.10.11回目】 ソウルバイイング研修、商品・WEB・プレゼン準備 【12回目】 市場調査、フィールドワーク③(表参道方面) 【13.14.15回目】 ソウルバイイング研修、商品・WEB・プレゼン準備 【16回目】 ソウルバイイング研修プレゼン 【17.18回目】 市場調査、フィールドワーク③(銀座方面) 【19.20回目】 市場調査、フィールドワーク④(青山方面) 【21.22回目】 市場調査、フィールドワーク⑤(渋谷・三茶方面) 【23.24回目】 新店舗企画案①②、ブランドイメージ・企画・店舗案 【25.26回目】 市場調査、フィールドワーク⑥(代官山方面) 【27.28回目】 新店舗企画案③④、アイテム・シーズン・ショップイメージ 【29.30回目】 市場調査、フィールドワーク⑦(新宿方面) 【31.32回目】 新店舗企画案⑤⑥、全体プレゼン準備 【33回目】 新店舗企画案⑦、全体プレゼン				

科目名	シーズンプランニング			
単位数	4単位（120時間）		科目コード	2026MD研03
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式
学科（コース）・学年	マ-チャンディング 研究科			
担当教員名	森田豊樹			
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である森田豊樹は、アパレルメーカー、(株)バツにおいて、営業職、生産管理職、MD（ブランドリーダー）職、経営計画室において9年以上携わった実績を踏まえ、MD（ブランド責任者）及び経営計画責任者の実務者の観点から授業を行う。			
授業の目標および概要	現代ファッションビジネスの状況を理解し、この後現れるであろう新しいファッションビジネススタイルの提案と、世の中にある問題各種に対して、ファッションの力で解決する方法はないか仮説を立て、検証し、立証する。これを論文として制作し、発表する。			
使用教材・教科書等	iPad			
成績評価方法	出席率、卒業論文の内容、プレゼンテーションの平均			
授 業 計 画				
<p>オリエンテーション 市場調査 検討 コンセプト設計 仮説作成 検証 論文作成実習 中間プレゼンテーション 利益計画 プレゼンテーション用資料作成 修正 最終調整</p>				

科目名	SNSプロモーション			
単位数	3単位 (50時間)		科目コード	2026MD研04
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式
学科(コース)・学年	マーチャンダイジング 研究科			
担当教員名	山田涼雅			
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である山田涼雅は、アパレルブランドにて販売員、副店長を担当しSNSマーケティングやEC管理、バイヤーを行う。 アパレルブランドも展開しており得た実績を踏まえ実務者の観点から授業を行う。			
授業の目標および概要	【目標】 SNSマーケティング担当としてのスキルやプロモーション能力を向上。 実践を行いながら、即戦力となる人物を目指す。			
使用教材・教科書等	スマートフォン、iPad、アップルペンシル、Maison AI			
成績評価方法	出席率100%			
授 業 計 画				
【1回目】 オリエンテーション 【2～15回目】 SNSリサーチ 【15～25回目】 オリジナルブランドSNSPR				

科目名	ディスプレイⅢ			
単位数	1単位（50時間）		科目コード	2026MD研05
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式
学科（コース）・学年	マーチャンダイング 研究科			
担当教員名	萩原充子			
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である萩原充子は、フリーランスとしてディスプレイとVMD業務に25年以上携わった実績を踏まえ、ディスプレイの実務者の観点から授業を行う。			
授業の目標および概要	ディスプレイテクニックの応用力を習得。 グリーンホール前のWDを使い、企画～プラン～立ち上げを年4回行う。 製作はグループワークで行い、協調性、リーダー力、現場力を養う。 卒業後に社会の即戦力となる人材育成。			
使用教材・教科書等	各自パソコン iPad 講師持参参考書			
成績評価方法	出席100%			
授 業 計 画				
<p>1. ディスプレイデザイン 講義</p> <p>…事例からアイデア抽出</p> <p>…年間販促計画とVMD/ディスプレイ</p> <p>2. WDディスプレイ実習</p> <p>企画立案は個人またグループ、コンペで1作品に絞り、ショーウィンドーを全員で立ち上げる</p> <p>…テーマ①「サマーフェスタ」 実習</p> <p>コンセプト、イメコラ、ラフプラン、見積作成</p> <p>WDオブジェ製作、立ち上げ</p> <p>…テーマ②「FWファッション」 実習</p> <p>コンセプト、イメコラ、ラフプラン、見積作成</p> <p>WDオブジェ製作、立ち上げ</p> <p>…テーマ③「クリスマス」 実習</p> <p>コンセプト、イメコラ、ラフプラン、見積作成</p> <p>WDオブジェ製作、立ち上げ</p> <p>…テーマ④「SSファッション」 実習</p> <p>コンセプト、イメコラ、ラフプラン、見積作成</p> <p>WDオブジェ製作、立ち上げ</p>				

科目名	ゼミナール			
単位数	4単位（120時間）		科目コード	2026MD研06
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式
学科（コース）・学年	マ-チャンダ-ジ-ン-グ 研究科			
担当教員名	森田豊樹			
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である森田豊樹は、アパレルメーカー、(株)バツにおいて、営業職、生産管理職、MD（ブランドリーダー）職、経営計画室において9年以上携わった実績を踏まえ、MD（ブランド責任者）及び経営計画責任者の実務者の観点から授業を行う。			
授業の目標および概要	社会人基礎力の習得のための、トレーニング、実験、個人研究 個別研究のためのリサーチ			
使用教材・教科書等	筆記用具			
成績評価方法	出席率、個人研究結果の平均			
授 業 計 画				
<p>オリエンテーション 企業と組織 個別研究テーマ検討 ビジネスプラン 企業研究 ディベートトレーニング リテールマーケティング演習 ファッション商品知識 ライセンスビジネス、知的所有権 経営効率 ビジネス法知識 総括</p>				

科目名	Webshop管理			
単位数	2単位（60時間）		科目コード	2026MD研07
必・選の別	必修	開講時期	前期	授業の形式
学科（コース）・学年	マーチャンダイジング 研究科			
担当教員名	今井利匡			
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である今井利匡は、企業のインハウスデザイナー及びフリーランスとしてグラフィックデザイン業務、web運営に15年以上携わった実績を踏まえ、グラフィックデザイナーの実務者の観点から授業を行う。			
授業の目標および概要	ECの基礎的な知識の習得 ECサイトの作成・運営方法の基礎的かつ実務的な知識を身につける ECにおける商品の流れを把握し、顧客管理等の必要性を確認 販促、SEOの対策方法の知識を習得			
使用教材・教科書等	PC・iPad・電卓（スマートフォン可）・USBメモリ			
成績評価方法	課題100%（平均点）			
授 業 計 画				
1. EC概要 ECサイトの概要及び現状のECサイトのあり方を学ぶ 2. 販売基礎 費用対効果・減価率等の物販の基礎を学ぶ 3. ショップ・ブランドコンセプト作成 オリジナルショップ・ブランドのコンセプトの作り方を学ぶ 4. ストア構築 ストアのデザイン・ページ作成を学ぶ 5. 商品構成 商品の作り方・撮影方法・採寸・構成表の作り方等を学ぶ 6. ショップ管理・物流 ECサイトの運営方法・各種書類作成・販売から発送までの業務を学ぶ 7. 顧客管理・販促方法 顧客管理・メール対応・クレーム対応・販売促進の方法・SEO対策等について学ぶ 8. プレゼン				

科目名	Webデザイン			
単位数	1単位 (50時間)		科目コード	2026MD研08
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式 実習
学科(コース)・学年	マ-チャンダ-ジ-ン-グ 研究科			
担当教員名	今井利匡			
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である今井利匡は、企業のインハウスデザイナー及びフリーランスとしてグラフィックデザイン業務に15年以上携わった実績を踏まえ、グラフィックデザイナーの実務者の観点から授業を行う。			
授業の目標および概要	CGソフトの基本操作及び応用を習得する。 グラフィックデザインの基礎・考え方を学び、課題を通してイメージを具現化できる技術の習得を目指す。 WEBデザインにおける効果的なグラフィックデザインを習得する。			
使用教材・教科書等	Adobe ILLUSTRATOR・PHOTOSHOP iPad・USBメモリ			
成績評価方法	課題100% (平均点)			
授 業 計 画				
<ol style="list-style-type: none"> 1. グラフィックデザインの基礎 レイアウト・配色の基礎、デザインコンセプト作成方法、 画像生成AIの基礎等、グラフィックデザインに必要な知識を学ぶ 2. WEBバナー、オリジナルブランドロゴ作成 バナーの作り方、ブランドロゴの作成方法等WEBにおけるグラフィックデータの基礎を学ぶ ※webshopとの連携 3. Illustrator・Photoshop応用 Illustrator・Photoshopの操作技術の向上、応用方法を学ぶ 4. プレゼン資料の作り方 わかりやすく、美しいプレゼンデータの作り方を学ぶ 5. WEBサイト用商品 商品の作り方、デザイン方法、業者への入稿方法を学ぶ ※webshopとの連携 				

科目名	英会話Ⅲ			
単位数	3単位（50時間）		科目コード	2026MD研09
必・選の別	必修	開講時期	後期	授業の形式
学科（コース）・学年	マ-チャンダ-ジ-ン-グ 研究科			
担当教員名	渡辺聡彦			
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である渡辺聡彦は、英会話スクール経営。各種学校、英会話専門塾、官公庁や各種企業からの依頼・オーダーに合わせ、文法、英会話をはじめ、英検・TOEIC・TOEFLなどの試験対策を行い、10年以上に渡り、1,000人以上の日本人・外国人に英語指導。			
授業の目標および概要	出来るだけ楽しく英語を学び、日常生活等、身近で簡単な事から英語で話せるようにし、英語での接客・対応が出来るように学ぶ。ファッション関連用語や有名ブランドの英語発音を知り、発音出来る様にする。			
使用教材・教科書等	渡辺制作オリジナル教材（iphoneかipad、又はスクリーン使用）			
成績評価方法	出席80%、課題20%			
授 業 計 画				
<ol style="list-style-type: none"> 1. ファッションに関する単語、ブランドの発音を知り発音できるようにする。 2. 日常生活で使えるような簡単な単語、フレーズから学び、使えるようにしていく。 3. 間違いを恐れず、英語を話す、使う、考える習慣をつける様な環境作りの推進。 4. 外国人のお客様対応を出来るようにする。 5. 1、2年で学んだ接客英語を実践的に使えるようにする。 				

科目名	BVMD II																																	
単位数	4単位 (60時間)		科目コード	2026MD研10																														
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式																														
学科(コース)・学年	マーチャンダイジング 研究科																																	
担当教員名	大方和則																																	
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	講師である大方和則は、(株)ハバダッシュリーにてマネージャーとして商業施設や立地戦略などを中心とした広義のVMDの業務に10年以上携わった実績を踏まえつつ、現在は東京、大阪、名古屋、東海、四国、九州と全国の様々なエリアでの講義や取材経験を生かしつつVMDを商業施設、ショップの立地戦略の視点から授業を行う。																																	
授業の目標および概要	単にショップのVMD構成やテクニックではなく、マーケティングにおいてマクロ的な街やエリアの潮流と、トレンド等のミクロな視点を、商業施設や、路面店という立地戦略と共に広い視点で学ぶ。 講義の半分はファッション業界の最新のニュースを理解し、残り半分はその知識をベースにVMDの意図や狙いをビジネス的な視点で理解する。																																	
使用教材・教科書等	業界専門誌・各種メディア・現場の写真・動画 デジタルリテラシー向上の為、ペーパーの配布はしません。各自iPad持参すること。																																	
成績評価方法	授業内課題提出70%、授業態度30% (出席率・参加意識)																																	
授 業 計 画																																		
<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">1. ファッション業界の現状 VMDの重要性</td> <td style="width: 50%;">16. 2026AWトレンド</td> </tr> <tr> <td>2. 2026年注目の商業施設 2025SSトレンド</td> <td>17. 10月の各商業施設のVMD戦略</td> </tr> <tr> <td>3. 最新のFBニュース、5月の各商業施設のVMD戦略</td> <td>18. 10月の各商業施設のVMD戦略</td> </tr> <tr> <td>4. 最新のFBニュース、5月の各商業施設のVMD戦略</td> <td>19. 10月の各商業施設のVMD戦略</td> </tr> <tr> <td>5. 最新のFBニュース、5月の各商業施設のVMD戦略</td> <td>20. 10月の各商業施設のVMD戦略</td> </tr> <tr> <td>6. 最新のFBニュース、5月の各商業施設のVMD戦略</td> <td>21. 11月の各商業施設のVMD戦略</td> </tr> <tr> <td>7. 最新のFBニュース、6月の各商業施設のVMD戦略</td> <td>22. 11月の各商業施設のVMD戦略</td> </tr> <tr> <td>8. 最新のFBニュース、6月の各商業施設のVMD戦略</td> <td>23. 11月の各商業施設のVMD戦略</td> </tr> <tr> <td>9. 最新のFBニュース、6月の各商業施設のVMD戦略</td> <td>24. 12月の各商業施設のVMD戦略</td> </tr> <tr> <td>10. 最新のFBニュース、6月の各商業施設のVMD戦略</td> <td>25. 12月の各商業施設のVMD戦略</td> </tr> <tr> <td>11. 最新のFBニュース、7月の各商業施設のVMD戦略</td> <td>26. 12月の各商業施設のVMD戦略</td> </tr> <tr> <td>12. 最新のFBニュース、7月の各商業施設のVMD戦略</td> <td>27. 1月の各商業施設のVMD戦略</td> </tr> <tr> <td>13. 最新のFBニュース、7月の各商業施設のVMD戦略</td> <td>28. 1月の各商業施設のVMD戦略</td> </tr> <tr> <td>14. 最新のFBニュース、8月の各商業施設のVMD戦略</td> <td>29. 1月の各商業施設のVMD戦略</td> </tr> <tr> <td>15. 最新のFBニュース、9月の各商業施設のVMD戦略</td> <td>30. 1月の各商業施設のVMD戦略</td> </tr> </table>					1. ファッション業界の現状 VMDの重要性	16. 2026AWトレンド	2. 2026年注目の商業施設 2025SSトレンド	17. 10月の各商業施設のVMD戦略	3. 最新のFBニュース、5月の各商業施設のVMD戦略	18. 10月の各商業施設のVMD戦略	4. 最新のFBニュース、5月の各商業施設のVMD戦略	19. 10月の各商業施設のVMD戦略	5. 最新のFBニュース、5月の各商業施設のVMD戦略	20. 10月の各商業施設のVMD戦略	6. 最新のFBニュース、5月の各商業施設のVMD戦略	21. 11月の各商業施設のVMD戦略	7. 最新のFBニュース、6月の各商業施設のVMD戦略	22. 11月の各商業施設のVMD戦略	8. 最新のFBニュース、6月の各商業施設のVMD戦略	23. 11月の各商業施設のVMD戦略	9. 最新のFBニュース、6月の各商業施設のVMD戦略	24. 12月の各商業施設のVMD戦略	10. 最新のFBニュース、6月の各商業施設のVMD戦略	25. 12月の各商業施設のVMD戦略	11. 最新のFBニュース、7月の各商業施設のVMD戦略	26. 12月の各商業施設のVMD戦略	12. 最新のFBニュース、7月の各商業施設のVMD戦略	27. 1月の各商業施設のVMD戦略	13. 最新のFBニュース、7月の各商業施設のVMD戦略	28. 1月の各商業施設のVMD戦略	14. 最新のFBニュース、8月の各商業施設のVMD戦略	29. 1月の各商業施設のVMD戦略	15. 最新のFBニュース、9月の各商業施設のVMD戦略	30. 1月の各商業施設のVMD戦略
1. ファッション業界の現状 VMDの重要性	16. 2026AWトレンド																																	
2. 2026年注目の商業施設 2025SSトレンド	17. 10月の各商業施設のVMD戦略																																	
3. 最新のFBニュース、5月の各商業施設のVMD戦略	18. 10月の各商業施設のVMD戦略																																	
4. 最新のFBニュース、5月の各商業施設のVMD戦略	19. 10月の各商業施設のVMD戦略																																	
5. 最新のFBニュース、5月の各商業施設のVMD戦略	20. 10月の各商業施設のVMD戦略																																	
6. 最新のFBニュース、5月の各商業施設のVMD戦略	21. 11月の各商業施設のVMD戦略																																	
7. 最新のFBニュース、6月の各商業施設のVMD戦略	22. 11月の各商業施設のVMD戦略																																	
8. 最新のFBニュース、6月の各商業施設のVMD戦略	23. 11月の各商業施設のVMD戦略																																	
9. 最新のFBニュース、6月の各商業施設のVMD戦略	24. 12月の各商業施設のVMD戦略																																	
10. 最新のFBニュース、6月の各商業施設のVMD戦略	25. 12月の各商業施設のVMD戦略																																	
11. 最新のFBニュース、7月の各商業施設のVMD戦略	26. 12月の各商業施設のVMD戦略																																	
12. 最新のFBニュース、7月の各商業施設のVMD戦略	27. 1月の各商業施設のVMD戦略																																	
13. 最新のFBニュース、7月の各商業施設のVMD戦略	28. 1月の各商業施設のVMD戦略																																	
14. 最新のFBニュース、8月の各商業施設のVMD戦略	29. 1月の各商業施設のVMD戦略																																	
15. 最新のFBニュース、9月の各商業施設のVMD戦略	30. 1月の各商業施設のVMD戦略																																	

科目名	特別講義Ⅲ			
単位数	1単位（15時間）		科目コード	2026MD研11
必・選の別	必修	開講時期	通年	授業の形式 講義
学科（コース）・学年	マチャダジング 研究科			
担当教員名	森田豊樹・各回ゲスト講師			
教員の実務経験の有無と 該当教員のプロフィール	-			
授業の目標および概要	現場で活躍する講師を迎え、ファッション業界の最新の動向を知るとともに、普段の授業だけでは学ぶことのできない幅広い知識を身につける。			
使用教材・教科書等	特になし			
成績評価方法	授業への出席（100%）			
授 業 計 画				
<p>1. マスコミ社会学 織研新聞の記事からファッション業界の現状、問題点、課題を理解し、自身の進路に対する指標とする。</p> <p>2. コレクション情報 パリ、ミラノ、ニューヨーク、東京のコレクションについて知る</p> <p>3. 販売実務（実店舗編） 実店舗での販売実務者から、実査の店舗での仕事の在り方及び運用を学ぶ。</p> <p>4. 販売実務（ECサイト・SNS編） ECサイトと運営及びSNSマーケティング実務者から、実店舗との連携と、サイトでの商品の紹介方法の実務を学ぶ。</p> <p>5. 企業経営実務 経営者から経営の基本、独立起業について、資金調達、融資、仕入、販売計画、在庫計画、商品計画、店舗計画など、将来独立起業に向けた展望を学ぶ。</p>				